(明治四十二年九月八日第三種郵便物認可)

第三千二百三十五號 (一) THE KEIJO NIPPO 大正二年九月十一日

京城日報

十日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾五錢(郵送料前金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金參圓七拾錢 ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲雜報欄內一行金壹圓貳拾錢 ▲場所指定一行金貳拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社
電話番號 編輯局 三四五番 二一四番 營業局 三二六番 一六六番 振替貯金口座 京城三〇〇番

○支那第二借款成立か
正式交渉は近日＝支那側の決定條件

支那第二借款正式交渉は近く開かるべく支那側は國務會議の結果決定交渉條件は左の如し(北京特電)

一、金額は事業に要する額を超過せざること
一、鹽税剰餘金を擔保となすこと
一、條件は第一次借款より有利なること
一、中、興兩銀行の兌換開始のこと

之に對し銀行團側は使途の範圍を左の如く定め居れり

一、軍隊解散及び各所の事業
一、國際臨時支拂及び外國借款の償還費
一、中央政府行政費尚ほ兩銀行の兌換開始費のみにて三千萬元を必要とすること

○商船五十萬噸建造案

巴里來電に依れば商船五十萬噸建造案下院に提出されたるが政府は右計畫を是認せり(倫敦電報)

○土國外相獨國訪問

伯林來電に依れば土國外相ハリルベーは獨逸外相に會見の爲伯林に來れり(紐育電報)

○勃牙利軍の暴虐
希臘官憲の抗議無効

雅典來電に依れば勃牙利軍はフロリ市民に對し暴虐を行ひ希臘官憲の抗議も何等の効果なし(倫敦電報)

○明年度豫算案

政府明年度の豫算案に對し大藏省は去る八日全部其の査定を終り直に印刷に著手したるが十二日の閣議迄には印刷間に合ひ兼ぬるを以て來る十五日の定例閣議より連日豫算閣議を開くことに決せり(東京特電)

○近藤郵船社長

近藤郵船會社々長は十日山城丸にて門司著福岡に赴けり(門司特電)

○千頭清臣氏逝去

貴族院議員千頭清臣氏豫て病氣の處九日午前遂に永眠せり享年六十一才(東京特電)

◉金銀出入高
八月は出超百八萬餘圓

八月の朝鮮貿易は本紙既記の通りなるが更に同月中に於ける金貨及び金地金、銀貨及び銀地金の輸移出入高を見るに輸移出に在りては金貨並に金地金百六十三萬四千七十九圓、銀貨並に銀地金一萬一千三百三十圓合計百六十四萬五千四百九圓を算し、輸移入に在りては金貨並に金地金五十四萬二百九十八圓銀貨及び銀地金一萬七千百三十圓、合計五十五萬七千四百二十八圓にして結局百八萬六千九百餘圓の出超を示せり、而して一月以降の累計は輸移出額に在りては金銀貨並に金銀地金を合し一千七十五萬九千八百九十二圓にして前年同期に比すれば三百六十八萬五千五百餘圓を、輸移入額に在りては同じく百十萬七千二百六十六圓にして前年同期に比し九十二萬二千四百餘圓の孰れも增加を示せり

◉煙草輸移出高

七月中に於ける鮮內製造煙草の輸移出額は口切紙巻煙草三百七十一萬本兩切紙巻煙草二千三十三萬九千本刻煙草六貫目此の價額合計五萬三千七百三圓餘にして一月以降の輸移出額累計は口付二千六百五十七萬八千本兩切一億一千四百四十三萬四千本刻五百二十二貫目價額二十六萬四千八百五十六圓餘なり今七月及び一月以降累計の輸移出地別價額並に輸移出者價額別を示せば左の如し

輸移出地別價額別(圓)

輸移出地	七月	一月以降累計
安東縣	三、八九八	八五、二六三
開原	—	七〇二
四平街	—	三一〇
本溪湖	四八	六二三
鐵嶺	—	一八七
撫順	—	一、三四〇
奉天	一九、六四八	三二、四八六
大連	五、四七三	六三、六一三
青島	九、三七五	四七、八〇〇
上海	三九〇	三、三〇九
間島	三、六五三	二〇、一七三
琿春	一、〇三五	四、四二〇
香港	—	三、三九〇
其他	一八四	六四一
計	五三、七〇四	二六四、八五七

輸移出者價額別(圓)

輸移出者	七月	一月以降累計
東亞煙草	三〇、〇二九	一六二、八一四
廣江商會	—	四三、七一一
朝鮮煙草	二〇、七七五	四一、三三三
釜山會社	一、三四四	一四、三七九
大邱製品	五三四	五三四
東光社	—	四四八
其他	—	一、六三八
計	五三、七〇四	二六四、八五六

◉本年の葉煙草

本年の煙草作は今後の天候と尚ほ著大の關係あるを以て十月上旬以降ならでは其の豐凶を豫想し得ざるも今日までの状況に徴すれば今年は各地とも降雨頻繁なりし爲め葉肉薄きを以て收納步目は昨年に比し多少の減退を免れざる可し然れども葉肉の薄き結果は其の品質を良好ならしむ可く大邱方面に於ける內地種葉煙草に在りては此の傾向特に顯著なるものゝ如し

◉漁撈試驗不況

本年度に於ける東海岸及び西海岸の兩漁撈試驗は成績不良裡に過般終了せり其の状況を聞くに

▲東海岸 に在りては五月二十一日より漁撈に著手し爾來慶南方魚津より慶北甘浦、江口、丑山及び江原平海に至る區域內の沖合に於て試驗十九回に達せしも秋刀魚千六百餘、鯖三千七百餘、鰺五百九十餘尾の外大鰤、鰮、鯛、鰈、鰊、等若干の漁獲を見たるに止まり之を昨年の成績に比すれば秋刀魚の如きは一日の漁獲數に過ぎざる状況にして其の他鰮、鯖、柔魚等の回游亦極めて稀薄を告げ所在不漁の聲を聞かざるなく今後の見込皆無なるより試驗船は遂に豫定を繰り上げ七月中旬終了したり

▲西海岸 に於ては六月二十六日より試驗を開始し以來大黑山群島青山島、台耳島、椒子島、蝟島其他五箇所の沖合に於て二十五回の試驗を施行し豫定の如く八月上旬終了せり此間の漁獲高鯛百餘尾、鰆二十餘尾、鱸百尾、鮸三十餘尾、石首魚、小鯖、鱸等若干にして其の不漁名状す可からず、兩海岸共斯の如き不況を呈せしは天理海候の順調ならざりしに因るものなる可く本年は之が爲め一般の漁事概して不振を免れざりしは遺憾なり

◉關稅收入增加
昨年に比し五十萬圓增

朝鮮關稅收入の八月分は輸移出稅三萬零七百十一圓輸移入稅四十一萬四千六百三十五圓噸稅五千六百九十八圓諸收入八千二百二十七圓合計四十五萬九千二百七十一圓にて輸移入の活況に伴なひ稅額も本年に入つて最高額を示し居れるが一月以降の收入累計は三百零四萬二千三百五十三圓にて前年より約五十萬圓增なりと

◉地金買入擴張
鮮銀長春支店に分析所

朝鮮銀行にては昨年春より長春支店內に地金係を設置して同方面の地金買入れに從事し居れるが開業當初は未だ一般に周知せられざりし等種々の關係ありて昨年中は不振を告げ本年に入りても依然閑散を聊ち居たるが去る六月末長春方面の有力なる金店と連絡を付け鋭意買入れに努めたる結果買入高は急に激增し昨年中には僅かに二十八貫、本年一月より六月までの半期間も亦二十六貫の少量に過ぎざりしところ本年七月のみにて一躍百五貫金額四十六萬九千圓に激增し八月も亦九十二貫金額四十萬九千圓に上れり此勢を以て進まば本年末までには非常に多額に上るべく最近二箇月間の買入平均量を以て推せば朝鮮全體の地金買入高の半數に達する譯なりと而して此關係は當分持續すべく買入業務の繁忙に伴ふて同行は長春支店の鑑定買入法を廢し地金係の設備を擴張して分析所を設くる事に決し近く之れが設置を見るに至るべしと

◉執務時間改正

總督府並に所屬各官衙にては夏期中執務時間を短縮し毎日午前八時より正午までなりしが例年の通り十一日より毎日午前八時三十分開廳午後四時退廳の事となれり

◉府の怠納處分

京城府にては昨年度來の府稅怠納者に對し非納期經過都度に督促狀を發して納附を獎勵すと雖も故意に納入を怠る者ありて甚しきは相當の社會的地位ある資產家にして納稅金額の利子を計算するに於ては假りに納期を延長して利子を得る方途に有利なりとなす者もありて其れ迄納稅金を徵集さるゝこともあるが京城府も殆んど其善後策に就ては萬策盡き居るものゝ如く餘儀なく強制執行の手段に出づるより他に途なく最近一大英斷を試む可しと

◉李埈公歸京

李埈公殿下には九日午後汶山より歸京せられたり

◉鮮銀海外派遣員

朝鮮銀行にて同行書記等行員七氏を倫敦紐育ペトログラード上海等へ差遣する事に決定せし事は既報の如きが其の調査事項等を目下重役の間に研究中にて其の決定を見て出發期等は定めらるべしと

◉教會の教育家招待會

京城內各基督教會聯合の教育家招待會は十日午後二時半より朝鮮ホテルに於て開會渡邊暢氏開會の辭を述べ江原、笹尾の兩師よりの講演ありたる後鄰室に移り茶菓の饗ありて三時半散會したるが當日は宇佐美長官、關屋、栗崎、太田、成田の各官並學校長、其他教會關係者等五十餘名集會頗る盛會なりき

◉北鮮より

▲北鮮活牛の將來 元山支局K生

朝鮮半島は東西共に波狀形の丘陵地に富む就中北鮮は我が北海道に於ける新冠月寒の牧場の如く一種の牧草野生するあり、而も雜麥は到る處に生育するが故に何處に在りても牧畜に適せざるなし牧畜中其の首位を占むる生牛は古來北鮮牛と稱し其の名八道に冠絶し食料用の如き殆ど他に類を見ざる良質のものなり然るに北鮮地方に於ては特に大牧場と稱すべきものを見ざるも農家は戸毎に牛を飼育せざるなく從つて其の多寡に依りて當に貧富の懸隔を稱呼するの狀態にして生牛現在高の如き咸南に於ては十五萬頭を存し咸北亦十萬頭を降らざるのみならず尚ほ年々著しく增殖の傾向を示し居れり而して一般農家は放飼を主とせるに拘はらず骨格肥大にして性質温順且つ强健なるの特色を有し食料勞役共に適するを以て北鮮牛は各方面に於て歡迎せらる卽ち現に其の體質に於て我が神戸牛と相並べ產額に於て彼の山東牛と相匹敵し以て北鮮貿易品中重要なる地位を占め且つ逐年輸出額の增加を示し居れるも偶然にあらざる也茲に於て乎當局夙に大いに見るところあり或は牛疫の防遏、牛種の改良或は畜產に對する補助等有らゆる手段と方法を講じ在鮮斯業の發達を促して日も尚ほ足らざるの有樣なり。加ふるに最近に於て北鮮活牛敦賀移入の途開かるゝに至り曩に屠殺用として北鮮牛の敦賀移入を試みたる際諸種の關係上失敗に歸したる敦賀の富豪大和田莊七氏等の計畫にて目下活牛移入準備進捗中なれば九月下旬乃至十月頃には再び移入を實行さるべしと聞く、卽ちこの第二回の北鮮牛敦賀移入が其の實績に於て好果を收め得たる後更に將來移入繼續の有利なるを確かむるに至らば日本海橫斷航路といひ三角航路の如き大問題も自ら其の何れかの解決を見るに至る必ずや難きにあらざるべしといふ、北鮮牛の將來亦益々多事多望なりと言はざるべからず

▲北鮮滑石の將來

東京府下谷區池の端仲町に本店を有する日本タルク株式會社元山支店にては嘗て江原道杆城郡新北面楸洞に約二十萬坪の滑石鑛區を發見し爾來引續き著々採掘中なるが更に今回咸南に二箇所江原道に一箇所の滑石鑛を發見し目下總督府に對し之れが採掘許可出願中にして就中咸南永興郡宣興面仁興里(永興驛を距る九里)所在の鑛區一萬三千數百坪は其の鑛脈品質共に最も有望なるものなりといふ由來滑石は金巾の製織及び製紙原料として需要範圍頗る廣きものなるが從來日本內地に在りては主として滿洲其他外國產の輸入に依り需要を充せりと雖も之等は悉く鑛石の儘搬入し來り阪神地方に於て製粉したる上更に仲買人等の手を經て各工場に仕向けらるゝ有樣なるが前記日本タルク會社は東京府下南品川に製粉工場を有し採掘搬入後製粉の上直ちに一般工業家に供給さるゝを以て前記滑石鑛にして果して豫想の如く成績良好ならんか其の品質に於て價格に於て優に彼の滿洲產と對抗し其他外國產を內地市場より驅逐するに至るや容易の業なるのみならず實に北鮮斯業の發展上一大慶事たらずんばあらず

安東縣

▲安銀支店建築 鮮銀安東支店は開店以來逐日良好の成績を擧げ居れるが今回家屋新築の議成立し敷地として同地新市街の中間なる富士見町の空地二百四十坪を選定滿鐵會社に對し借入交渉の結果愈々承認を得たるに依り目下當地本店に於て設計其他の準備中なるが本年內には起工し遲くも明年五六月迄には竣成せしむる豫定なり

▲米穀相場 連日高値を唱へ居たる當地の米穀相場は昨今稍居据の姿にて奥地及支那人向共引續き相當の賣行あり相場は卸賣にて玄米上物十三圓五六十錢より十四圓迄白米上物十六圓五十錢十七圓迄の間を唱へ居れり

▲橫井汽車課長 滿鐵汽車課長橫井實郎氏は沿線視察の途次九日午前來安山路驛長の案內にて支那市街を視察し同日午後平壤に向へり

▲式村氏歸安 鴨綠江製材無限公司代表者式村茂氏は過日來吉林方面視察中の處九日午前歸安せり

▲稅關鑑定價格 新義州稅關支署にては本月十六日より課稅價格を變更する筈なるが大豆上一石に付六圓八十錢同下五圓九十錢小豆七圓六十錢牛皮乾百斤に付五十八圓同鹽三十五圓なり

羅南

▲繁榮協會設立 羅南は開闢以來居住者頓に增加せるも何等中心團體なきを以て其發展上支障少からざるより一部有志間には官民各方面階級の代表者を網羅したる會合を設けんとの意嚮ありしが今回愈々機熟し羅南繁榮協會なる會名の下に官民一致羅南當面の問題たる府制の實現其他羅南の利害休戚に關する問題に就て意思の疏通を計り協力以て羅南の發展を期する目的にて計畫中なるが近く實現を見るに至らん

▲金融相互組合 羅南市中に於ける金融相互の調節を計り直接銀行と取引を爲すに至らざる小商人に對し低利資金の融通を爲さん目的を以て有志間に相互組合の組織計畫中なりし所數次發企人會合の結果愈々成立に決し定款は印刷の上凡く會員の募集を爲す筈なるが最初は一口五十圓の株を百口募集せん計畫にて充分の成績を見るべき豫想あり

▲軍用水道擴張 羅南會寧兩軍用水道は何れも兵員の增加營外居住將校官舍の建設に依りて大々的擴張工事を執行する事となり之に要する鐵管類は既に龍山經理部に於て見積徵收中なるが諸準備の整ひ次第工事に著手の由也

▲羅南繁榮市況 羅南昨今の市況は本年附近田舍の水害旱害もなく農作物豐穰にして大麥の如きは昨今非常に市中に出廻るに至りしかば地方農民の購買力著しく增進し其結果は稍沈靜せる鮮人間商店の活況を呈するに至り軍人家族の渡來者增加の結果は又々購買力の增進を來し商況漸次好況に向ひつゝあり

▲輸羅鐵道用地視察 清會線の一部として輸城より布設さるべき輸羅間鐵道用地買收の必要上より過般鐵道局員郡當局者と共に實地視察を爲したるが羅南停車場の位置は輸城兵站東側に略決定せり

清津

▲清津現在戸口 八月末現在清津府戸口は內地人九百四十四戸人口三千百七十八朝鮮人一千二百二十四戸五千三百九十八外國人五十一戸四百五十一人計二千二百十九戸九千十一人を算せり

▲清會線工事現況 清會線鐵道工事現在の工程は龍興古茂山間の第二工區は全く竣成して六月既に引渡濟となり第一工區亦架橋工事を除けば九分の竣功にして第三工區も茂山隧道以外は殆んど完成に近く今や第四五の兩工區工事の最盛期に入れり

▲大水害後始末 昨秋の大水害に依り慘害を被りたる清津會寧間及び會寧穩城間の國道復舊工事は八月三十日鏡城道廳にて入札の結果清津會寧間四萬四千九百五十圓にて宮川良水に會寧穩城間八千九百七十三圓にて津田恭二郎に何れも落札せるが竣功期は來年三月末なりと

▲旱魃地に降雨 咸北及び對岸間島琿春一帶に亙りて旱魃の聲漸く盛んならんとせるに際し八月二十八日來數回に亙りて適當なる降雨ありたる爲め旱魃地方の農作は一般蘇生の觀あるが今回の降雨に依り收穫を復せしむべき見込みあるものは粟蔬菜等の秋收品にして旱害の最も甚だしかりし大小豆類は降雨前既に枯死し又は不熟と決したるを以て降雨も甲斐なかりし而して現今に於ける秋穫豫想は大小麥燕麥平年作大小豆三分作粟高粱六七分作の見込みなり

元山

▲四郡土地調査終了 豫て久しく元山に在りて附近諸郡の土地調査に從事中なりし班長松尾萬喜氏以下調査班全員は安邊、德源、文川、高原四郡の調査を了へ更に咸北國境方面の調査に向ふ筈にて班長松尾萬喜氏並に竹村良馬氏等は九日出帆の立神丸にて咸北鏡城郡に向へり

▲元山五里浦間航路 既報九月廿日を以て元山五里浦間に於る朝郵永興丸の廢航後元山水產會社支店に在りては同社船明太丸を該航路に就事せしむるの計畫なりしが其の後聞くところに依れば既に大體に於て東京本店の同意を得たる模樣なれば近々該航路認可申請の運びに至るべし而して該航路は最初成るべく鎭興場に近接せる地點に回航の豫定なりしも實査の結果水深の關係上彩點は依然五里浦と定めたる上沿岸各漁村に對しても努めて便宜を圖る筈なりと

大田

▲隊長出張 畠山大田憲兵分隊長は要を帶び八日午後二時發列車にて鳥致院を經て公州に向ひしが九日午後歸任の筈

▲儒城浴客 八月中大田溫泉浴客は內地人男九百二十二人女八百三十九人鮮人男六百五十六女二百四十七人計二千六百六十四人此收入八十六圓二十錢なりし

▲郡內屠殺數 大田郡內に於ける八月中屠殺數は牛四十一頭價格八百三十一圓五十錢豚二十三頭六十七圓七十錢羊一頭二十圓犬二百二十六頭二百八十五圓八十錢なりと

▲院長來田 花田公州地方法院長は支廳監察兼憲兵隊事務視察の爲め來る十四日來田十六日まで滯在十七日沃川に向け出發の由

▲輕鐵不通 全州輕鐵は去る三日來の強雨の爲め七日不通となりしが復舊運轉は二周間後の見込なり又湖南線鶴橋夢灘間夢灘三鄕間は復舊開通せしも尚ほ當分徐行すべし

▲畜產品評會 大田郡畜產組合主催にて第一回畜產品評會は大田川附近廣場にて開催各方面より出品多く牛百二十五頭雞三十三點にて牛は優良なるもの十九頭雞五點にて午後三時審査長指宿道技師の審査を終り同四時より賞品授與式を擧行せり

晉州

▲陸地棉豫想と指定人 慶南陸地棉收穫高は四百萬斤以上なるも天候不良の爲め約七分作見當にて三百萬斤內外の豫想なり尚ほ本道指定買收人たる朝鮮棉業株式會社及び清水佐太郎氏は買收區域の指定を受け買收保證金の納入をなし十月一日より買收事務を開始する由

▲井浦判事歸晉 久しく歸省中なりし當支廳判事井浦義久氏は歸晉せり

▲南江の增水 數日前より降始せる豪雨連續し南江の大增水を見るに至り二丈數尺に及び人心恟々たり

大邱

▲大邱兵營用地交換 曩きに大邱兵營設置確定を告ぐるや陸軍省は大邱に於ける陸軍用地約四千坪(東城町十七中隊、京町、八十聯隊本部明治町第三大隊本部上町衛戍病院所在地)旅團期成同盟會へ拂渡し獻納用地と交換すべき約束となりたるが六日堀口陸軍省屬來邱實地の交渉をなし右敷地は愈々期成同盟會へ交換下附の手續を了せり

▲大邱第二小學新築費 大邱第二尋常高等小學校の建設は目下大邱學校組合に於て計畫中なるが工事費約二萬三千圓の豫定なり

人事消息

▲寺尾規矩郎氏(新義州稅關支署長) 十日朝入京不知火旅館へ
▲コーデン氏夫妻(米國陸軍少將) 九日夜東京へ出發
▲ケプトレル氏夫妻(京城駐在露國領事) 九日夜永登浦より歸任
▲高橋傑洋氏(東京ブースビー主筆) 九日入京

□大槐庵阮堂書論席上

秋のふじ脚根四方の山低し　大魄
虫鳴くや阮堂地下に呵す書論　無然
書論つき秋雨蕭々旬に耽る　一象
南山や秋煙雨の中に半なり　大魄
くも霧の中に灯も見ゆ秋の夕　青牛
山の灯の間々現るゝ秋の雨　虎耳
山の灯や佛庵の夜雨秋寒う　九州
秋雨に書論を流す今宵哉　無佛

珍らしい畫像 天地創造神—總督府博物館

●木乃伊 若い女、蛇、狼
珍らしい創造神の畫像—總督府博物館陳列

東本願寺前法主大谷光瑞伯が西藏より發掘し來りたる貴重なる佛像其他の二千餘點の物品は

◇二樂莊より 愈々今回景福宮內修政殿に陳列せられたる事は既報の如くなるが此內最も吾人の目を惹くものは陰陽神、木乃伊、武器等で有る陰陽創造神の畫像は北齋沓の古墳中から發掘したものであつて同一の畫像が三副あつて內二幅は白の絹紗に描いてあるが一幅は青黑色の麻のやうな粗布に白黃青赤等の繪の具を以て描いて在る、西藏とは

◇世界第一の 高原であつて空氣乾燥し降雨少く土壤濕潤の度極めて少きを以て斯くの如き繪畫が土地に埋れて千五百年乃至二千年の今日依然として存して居つたものであらう、畫像は波斯古代の裝服に似たる男女が相擁し腰の邊に於て一體と成り腰より下は蛇形となり双方から卷き付いて居る男は左手を揚げて拘形を爲せる武器を翳し又は

◇右手を揚げて 環狀形のものを捧げて居る男女の頭上には太陽が輝き左右には數多の星が點在し絡み付いた尾の中には月が照つて居る此の天地創造神は埃及波斯の神話から生れたものらしく或は佛教以前に印度から傳つたものかも知れぬが何にせよ珍らしいものの一つである木乃伊は何れも婦女子で完全なる頭部が二個ある何らも若い女らしく

◇豐頰にして 骨格も大きく立派である、頭髮も其儘殘り靴を穿きたるまゝ衣服の破れたるものに殘つて居る長く瘦せた手や肉も裝飾、頭飾等も殘つて居る此の外に太い割合に短かい蛇及び狼其他の獸類の木乃伊等は何れも珍らしいものである、武器の內で珍らしいものは狼か何かの牙を革で拵へた

◇棒に植付け たものであつて格鬪の際に敵の體に打込むもので有らう此の他に土製木製の祭具等には我國の神代頃の器物と似寄つたものも尠くないやうである

●私娼が減つた
大正藝者の六割は有毒者であつた
松井警視の東京視察談

命令を受けて警察事務の視察として東上し警視廳初め東京市內重なる警察署に就いて七年振りを以て親しく實情を見學し得る所も尠くなかつたが何分新任早々の事とて未だ正式の復命書も提出してない程で詳細な土產話は追て發表することとなし取敢へず昨今社會の呼物となつてゐる帝都の私娼撲滅と公娼の現況に就て極い摘んで觀た儘をお話して見ると何しろ私娼の巢窟地域たる淺草千束町を初め日本橋の馬喰町、芝區明神町の如きは全部で二千餘名の白首が蠢る處

▲銘酒屋始め 場末に住んで居るのだから驚くべき程であるが尙此他に麻布、下谷等にも多數の私娼が伏在してゐる、是等は主として今より約十年前から漸次增加したもので本年五月警視廳が一大鐵槌を下して嚴重なる私娼檢擧に着手したる結果、其後日本橋區濱町には大正藝者などといふ變態なものが出現し別に藝能もなく相も變らぬ賣淫本領の發展振りを示したもので其筋でも捨て置かれず此の大正藝者と稱する者に檢黴を勵行した結果百人に對する六十人といふ多數の有黴者あるを發見したので

▲一般風紀上 衞生上忽諸に附すべきことでないから更に繼續的に私娼の撲滅策を講じつゝあるといふ次第だから此際一般銘酒屋其他一般の曖昧屋も覺醒の眼を瞑り警戒の網を張り初めたので、其筋では卒頭一歩を進めて其の驅逐に從事した結果昨今の東京では昨年頃の私娼數に比較し約三分の一位しか殘つてゐない、驅逐された三分の二は如何に消ねたかといふを探究して見ると多くは東京を後にして田舍の地方に落ち逃げ又は京阪地方に姿を匿したものも少くない、或る一部は正業に就たものもある、斯の如き有樣だから今日では一般に

▲藝を賣るこ いふ傾向になり藝で客に侍する爲め眞の藝の研鑽に熱中する樣になり一面雇女の數を制限されたから組合や雇主の方でも女の身元調査を嚴重に行るやうになり從來養女といふ名義で抱ね置きながら其養女の隱れたる怪しき職業が罩に『養女』といふ美しき名義を蔽はれて社會や家庭の方でも何等危惧の念を抱いてゐなかつたものが端なくも其筋の私娼撲滅といふ鐵槌に依つて匿れたる裏面を曝露されて最早や社會一般の者も養女といふ名前に迷はされず銘酒屋の何たる性質を了解するやうになりて大に

▲疑惑こ怪訝 の眼を以て警戒するやうになつた、爲めに私娼も其筋こ社會この高壓に耐へ兼ねて今や屏息するの外はなくなつたが警視廳では尙撲滅の手を弛めず前途二三年の繼續事業として漸滅せしめつゝ最後には根絶するの意氣込だ相であるが斯うした反面には公娼の擁護改善に努め其品性を教養しつゝあるが爲め公認遊廓では此際玉代の如き以前より幾分相場が上つて來た、客席の飲食物の如きは客の要求に從ひ提供する事こなり以前のやうに酒肴を以て無茶な暴利を貪らぬやうになり、酒一本肴一皿から玉代迄悉く定價を各室に貼り出して明示するやうになり一方に於ては娼妓の

▲日常生活を 成るべく時間勵行の規則的に誘導しその外出の如きも其手數を成るべく簡易にして以前より優待し殊に花柳病の撲滅を計り併せて洗滌所の完備を期しつゝ目下着々實施中であるこれらの制度の長所は參考とす可き點が多いがしかし京城の公私娼こ何う云ふ關係を有つかといふことは今言ひ得可きことでない

●天候暫く不定か
京城は一夜に三石四斗二升の雨

九日朝黃海の沖に現れたる低氣壓は其後漸次發達しつゝ東北東に進み來り仁川附近より上陸し十日午前一時頃京城北方を通過し元山及洪陵方面に進み十日午前中に日本海に出でたるが京城にては午前一時より同三時迄の間に豪雨あり一時間四十ミリと云ふ稀有の暴雨となりしが殊に二時より同十分に至る十分間に二十ミリの降雨ありたるは京城測候所の新レコードなり此の低氣壓の進出後更に仁川沖に微弱なる低氣壓出現したるを以て當分天候快晴なる見込なし尙測候所は十日午後二時次の警報を發したり曰く、數日來引續き朝鮮附近は天候不定なりしが九日朝青島附近及び北滿洲に發生せる低氣壓は十日朝何れも半島に襲來せるを以て九日來全鮮に降雨あり十日午前六時に至る雨量は京城の百八十七粍（坪當三石四斗二升）仁川は八十五粍にして他は三十粍以下にありて就中平壤地方に多かりしもの、如し今後降雨は一時歇む可きも一般の形勢は尙不穩なるを以て中部以南地方は警戒を要す可き見込なり云々

道路が崩れた 水標橋附近雨中所見

▲市內浸水四千戶
非番巡查召集—深夜の混雜
漢江增水廿三尺—十日午前十時

九日午後よりの豪雨にて京城附近には被害尠からず十日正午迄の調査に依る被害狀況左の如し

▲本町 警察署管內 にては淸溪川（水標橋川）の濁流氾濫し十日午前一時頃に至り溢水甚しき爲め同署にては非番巡查一部を召集して警戒に任じたるが同川沿岸一帶殊に黃金町二丁目四百戶の浸水最も甚しく其他同町各丁目、茶屋町、水下町等は路上溢水一尺乃至二尺に達し午前三時十五分頃に至り稍減水したるが何分急遽なる出水の事とて浸水家屋にては不意を食ひ深夜大混雜を極めしが幸に人畜に異狀なかりしも是が爲め各町より吐き出す下水溝の水は

▼逆流する 程になり淸溪川沿岸は殆ど床下迄浸水し時々床上に及びたるも少なからず尙永樂町、櫻井町各一二丁目も下水の溢水にて街路は暫時小川と化したり同署管內にして床上迄浸水したるもの內地人六十九戶、朝鮮人八十戶、床下浸水は內地人六百九十戶朝鮮人八百十四戶に達せり尙此他黃金町並木町等に家屋の

▼半壞せる もの二三棟あり各町共道路の破損土塀石垣等の崩壞したるもの數十個所あり

▲鍾路 警察署管內 も淸溪川沿岸一帶は浸水殊に甚しく各町洞共に下水溝の溢水にて道路と言はず家並附近と言はず

▼濁水停滯 して交通遮斷となり殊に東大門外附近及び大廟前などは身動きも出來ざる程にて朝鮮式溫突の建物こて壁の剝離したるもの屋根瓦の墜落したるもの等頗る多く慘憺たる光景を呈し尙空家倉庫等の全壞したるもの六棟あり此他半壞したるものは三十一棟の多數を計ふるに至りたるが鍾路警察署にては豫て危險區域又は倒壞の恐れある家屋居住者に對しては

▼避難せし め置きたる爲め人畜に何等の死傷なかりし、同署管內にては家屋の損害は前記の外破損したるもの二十二戶あり床上迄浸水したるもの內地人十四戶、朝鮮人八百三十一戶、床下浸水は內地人二十四戶、朝鮮人三千一百戶の多數に上れり

▲龍山憲兵分隊管內 にては元町四丁目下に於て十日午前十時漢江の增水二十三尺を示し尙漸次增水の模樣にて引續き警戒中なるが是が爲め浸水したるもの麻浦に三十戶あり其他下水溝の溢水にて大島町に約三十戶の浸水あり新舊龍山の間を流るゝ旭川も幾分の增水ありたるも兩岸共浸水するに至らざりしと

□商標が大切だ

頃日滿洲の田舍地方を廻つて來たが支那の田舍に行くと日本商品は商標次第で向き不向きが定まる、幾等實質が良好でも廉價でも商標が嫌はれたら夫れ迄だ支那人は日本人と反對で龜を嫌ふこと夥しい爲め商標に龜の繪があるものは身慄して厭がる又煙草の如きも朝日の印は日本式であるといつて嫌ひ、天狗とか其他異樣な形態のものを描寫したものは何れも魔物であるといふ迷信的のことから忌まれるが麥酒の如き他の物は殆どなく麒麟ビールばかりである之は支那人の風習として麒麟は貴いものとして崇拜してゐるからだ、尙其他孔雀とか鳳凰の繪畫など描寫してあるレッテルの商品は頗る歡迎されてゐる（東拓課部の談）

▲鐵道被害
殆ど各線不通

▲京釜線 水原永登浦間 九日以來の豪雨の爲め京釜線は始興安養軍浦場間の各河川氾濫して線路を浸し各河川の鐵橋亦危險の爲め九日午後十一時釜山發急行列車は水原より引還へし旅客は水原に滯留しつゝあり十日八時三十分南大門發釜山行列車は右の爲め發車せず目下急施工事中なるも何分各河川減水の模樣なきを以て未だ復舊開通の見込立たず永登浦水原間は目下列車不通となり居れり

▲湖南線 亦不通 湖南線は大田新堤間增水の爲め九日午後より列車不通となりたるも減水次第復舊開通の見込なり

▲京元線 午後五時開通 京元線は西氷庫往十里間增水の爲め不通となり京元線旅客は電車にて淸凉里驛にて乘降しつゝあり今後甚だしき降雨無ければ午後五時頃復舊の筈なり

▲京義線のみ安全 京義線は十日午前中には何等故障の報告なく此の方面のみ漸く安全に交通し得る次第なり

▲京仁線 鐵橋危險 九日午後よりの豪雨にて仁川地方も各河川の增水ありしが十日午前十時頃仁川驛起點十五哩七十六鎖なる京仁線永登浦梧柳洞兩驛間を流るゝ加里浦川に架しある鐵橋の袖石垣一部崩壞し列車の通過危險なるより十日午前九時四十五分仁川驛を發したる列車は已むなく素砂驛に停車し目下崩壞箇所の復舊工事を急ぎつゝあるが十日午後二時迄には復舊運轉することゝなれり（仁川電話）

●溝に頭を突き込む 九日午後七時半頃の豪雨中南大門驛前內國通運會社前の下水溝に頭部を突き込みて苦悶中の內地人あるを附近なる南大門通り笑福旅館の雇人韓福打（三二）が發見して直ちに引上げて救助したるが件の男は吉野町居住の人夫外川廣吉（三七）こいひ折柄の豪雨に打たれ持病の癲癇發病したるものなりこ

●門司に十七名 門司市にては虎疫初發以來十七名に達し十一日市會を開き第二回豫防費七千五百九十圓支出を附議する筈なり（門司特電）

●幽靈證書で 五千圓を騙る 忠南瑞山郡近興面水龍里生れの李弘烈（三〇）は本年二月中京城に流れ込み土地賣渡しに關する幽靈證書を僞造したる上惡意なる瑞山郡二北面官里の李奎夏（四三）を京城に呼寄せ兩名共謀の上李奎夏は瑞山郡守の使者なりと詐稱し二月二十六日西大門町一丁目朝鮮總督府郡守、受付番號、證明番號の官印を僞造せしめ次いで同月二十八日には西大門町一丁目彫刻業李[illegible]をして公州地方法院瑞山出張所印、公州支廳瑞山法院之章受付月日登記番號印等裁判所登記事務に必要の官印を僞造せしめ是等の官印を行使して官廳より土地所有權の證明ありたる如く裝ひたる土地賣渡しの文券を作り之れを擔保として四月十八日當昌洞趙德俊、金永順の兩名より金三千圓を借用し尙五月二十九日は需昌洞金鎭泳、朴春根兩名に瑞山郡瑞寧面、仁旨面、近興面所在の水田四百五十四斗落擔保としたる是れも幽靈證書を以て二千三百圓を詐取したること發覺して兩名は鍾路警察署に檢擧されたり

●警察官へ記念品 今回高陽警察署[illegible]氏に付き同管內[illegible]轉任のことに決定せる處同氏は昨年六月高陽管內中最も難治の地と云はれし纛島に赴任し僅々一年餘に過ぎざるに能く人心を集攬し火防、水防、衞生、交通等の設備を完全にし寢食を忘れて地方啓發の爲盡瘁せしかば內鮮人間の評判好かりしが今回榮轉に付纛島面長、[illegible]長、東拓纛島出張所長、水道局主任、[illegible]校長、郵便所長等發起となり在留內鮮有志者より記念品を贈呈せりと

讀者文藝（一等には五十錢の書籍券を呈す）

△狂歌『團子』

○千松の眞似か子供はお供への團子は先へ毒味しにけり（一等） 沙里院 立川よしの

▲名は體をあらはす鬪の團子山コロリ／＼と投げ出される 水原 逃金五鵬

▲何事もくし／＼する[illegible]も團子の樣に[illegible]

▲鬼ヶ島討つて心もよいきびの團子も赤く酒に醉ひけり 京城 奇の面雲

▲戰歿した猶體玉にあてられて團子の樣なこぶを貰へり 京城 玉芳生

京城 東海

■課題及び募集規程は欄外にあり

●濡衣を著せられて 一町二丁目居住の古物商[illegible]丁目材木商[illegible]取調への結果嫌疑は[illegible]たる形跡なく[illegible]

■讀者課題及び募集規程

■募集規程 ▲用紙は端書又は同型の洋紙一枚毎に紙の外に住所氏名[illegible]

演藝案內

有樂館 本町一丁目 電話二六六 日本活動寫眞株式會社特約 九月八日より特別大寫眞提供 △新派大悲劇『夢子』全四卷 [illegible] ◎大冒險大活劇『暗號書』全三卷 [illegible] ◎新派喜劇『酒井の太鼓』全三卷 [illegible]

御成座 御成町 電話一九一 新派中村榮一行 [illegible] 一番目 喜劇ビックリ袋 二番目 [illegible]

浪花館 明治町 電話二六〇 大阪女義太夫大一座來る 二日目（十日）[illegible]

黃金館 電話一八五二（階上）二六三七（階下） 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 九月七日より特別大寫眞提供 [illegible] ▲大冒險大活劇第九『名金』第十七編 [illegible] ▲連鎖劇『佐倉義民傳』全五卷 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動株式會社朝鮮代理店 九月六日より特別臨時大寫眞 [illegible] ▲舊劇『大塚信乃』全三卷 [illegible] ▲本邦活劇『戶田式部長官命名』『戰禍』全五卷 [illegible]

古錢 いろは別古錢價格表 定價廿錢送料二錢 入振替大阪一二三〇〇番 發行所 大阪松屋町博物北 家村書店

物品拂下 九月十二日京城稅關出張所ニ於テ入札ニ付ス詳細ハ門前掲示又ハ總督府官報廣告ヲ見ヨ 仁川稅關

運命も腦み次第 性相學會 京城永樂町二丁目 交番より北へ四五軒 ドラック商會横入 朝鮮支部 電話武武參番

琴古流 尺八樂譜解說 一部卅錢 郵稅二錢 琴古流 尺八樂譜 目錄希望者は要郵稅二錢 東京小石川區大和町 尺八教授 水野呂堂

國譽 ひた 冬物荷揃 此頃足袋はドナタも國譽とお名ざしです 山の如きお注文も 大阪東區平野町五 國譽たび本店

蠶繭 屑物賣買業 京城府龍山漢江通八番地 河原壽夫繭絲店 電話（龍）四三二番

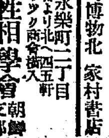
和洋家具 京城本町二丁目 増田本店 電話長一〇九

コレラ恐るゝに足らず 胃腸さへ健全ならば くだりはらによし

コレガ有名な あかだま 赤玉 東京淺野製

全國各地藥店に販賣す しぶりはらによし

肺病 肋膜炎 氣管支 には輕症三服重症五服にて効能ある良藥を郵券武錢相添照會あれ治療法豫防法を供に詳報す 名古屋市西區本町三丁目 鈴木盛角堂



林姓女(三七)は豫て夫を嫌ひ居たるが里林鴻章方に立歸り…八月十二日夜窃かに脱け出で、妾を探して連れ歸らん名にて林姓女を晦ましたるより大植は叔父なる太平…詰問したるに同女は何う思つたか平…覺し關係者一同を本町警察署に引致…間を要する打撲傷を負はしたる事發…打治療三週…名掛りにて…婿となる約束にて私…に逃げ歸りゐたるものと判明し前記…加害者及び兩女は何れも檢事局へ送…公判…懲役三箇月に處せら…れ二年間刑の執行を猶豫されたり

◎思ひ掛けぬ危險は 皿や庖丁から

△お臺所の警戒 此頃のやうに内地の虎疫の噂があると誰れもが甚だしく神經過敏に陷り魚類は危險だと云つて魚は絶對に食はぬ樣にして居る向もあるが非常に用心するとなれば必ずしも魚類が危險とばかり定まつて居ない、水に浸される事が危險ならば

△青物も豆腐 も危險で詮議立てをすれば遂には食ふ物が無くなる、斯くては活きて行けないことになる、要は適當な方法を講じて料理をすると云ふに止まるのである、生物、生水を飲食するの危險なのは何人も能く知つて居る所であるが此際特に各家庭に於て注意すべき事は斯の如き正面の豫防は勿論のことそれと共に

△側面の豫防 即ち魚類青物類其他に依つて鉢皿俎庖丁等の器物類や臺所を汚さないやうにすることである傳染病菌の感染する機會は比較的此等側面から來る場合が多い例へば魚は洗つて鍋に容れて煮ても生魚を容れた皿や鉢を唯水で洗つた許りで置けば若し其魚に病菌が附いてゐたとすれば其病菌が手に著き

△自然口にも 入る樣な事となる側面の豫防としては臺所の諸道具を熱湯で消め出所危險と認めた魚類野菜等は煮湯を掛ける事が肝要で斯くする事は容易の業で而も意外の効果を奏するのである（某醫學博士談）

◎月餅

△中秋のお供餅 △支那のお菓子

一月の年糕、五月の粽、八月の月餅などは節句を大事にする支那國民の最も凝つたお供へ物である、此頃は恰度此の月餅が何處でも賣り出されて居る、此の餅の餡は日本のそれと頗る違つて、胡桃、杏、西瓜の實、蜜柑の皮、棗、茘枝、龍眼肉、燕窩火腿などをゴッチャにつきませてあるからその味も定らない、支那では之をお月樣の食卓に備へて中秋の節を祝ふ

□日曜漫畫（魚屋と肉屋）コレラ流行の今日此の頃一般何れの家庭に於ても先づ其の筋の御達しは無くても食物の撰擇にせわしい、せんじつめた結果魚類にはコレラの虫が居ると言ので今は肉屋の大繁昌往來で逢ても魚屋と肉屋は睨み合ひの體

魚屋曰く『コレラなんてハイカラな病氣がはやりやがるからこちとらのあごがひあがらーべラボーメー』

肉屋曰く『何んと言ても今日では肉でなきや夜も日もあけねいんだ、此の頃肉の鍋あた衛門の御きげんのいゝつたらめつぽうけいだ、ウフ、、、、……』

神社と御寺と教會

○救世軍集會 十日午後八時より永樂町二丁目救世軍會館にて石島大尉夫人の說教『健やかなる者は醫者の助を求めず』あり

□基督教演說會 十日午後八時より本町三丁目壽座にて開催牧師釘宮辰生氏の『基督と人生』牧師鈴木文治氏の『宗教心の開發』あり猶ほ終りに江原素六先生の講演あり

□江原素六氏歡迎會 九日午後五時より青木堂にて開催、猶ほ十日は朝鮮ホテルにて麻布中學校同志會の午餐會あり、また晩餐は野田東拓副總裁の招待にて朝鮮ホテルに開催せり

冬ノ仕度ハ先ヅ銘仙カラ 冬物自慢之珍柄 全部品揃 京城本町 秩 ちぬや 電話八六〇番

お休日記

△寫眞を撮つて 西大門小學校尋五 岡田武

○八月十日(木)朝六時半に起きて新聞を見た。それから學校へ夏休寫眞帖を持つて行つた、今日は天氣が惡いので水泳も休みであつた。それで掃除をした。學校から歸つてから一時間ばかり勉强して湯にはいつた。大塚君と西小門の深瀨樣に御使に行つた。歸つてから小田君を呼んで鈴木君の家へ行つたがいないので皆ひるめしをたべに歸つた。午後大塚君の家に行かうとして出かけると、小田君と大塚君が來たので鈴木君のところに遊びに行くことにきめた。鈴木君のところで鬼遊びをしてあそんだ。僕等三人は鈴木君の兄弟と荒井君との八人で寫眞をうつしていただいた、そのうつしたものを京城寫眞館に持つて行つて家へ歸つた。夜は本島のおばさんと堀江のおばさんがおいでゝにぎやかであつた。

○八月十一日(金)朝鮮人の下駄が舟のやうに見ゑて面白かつた。學校の門をはいると右側に廣い運動場は湖のやうであつた。上り口は池のやうに見ゑた。下駄箱につくと皆ぐぶにはまつたやうにびしよぬれになつて居た。少したつて先生がいらつしやつたので宿題を見ていただいた大抵が◎であつたが、一つ日記が○だつたのは殘念に思つた。しかたがないから夫からよくかかうと思つた。それから水泳に行くものは、あとに殘つて校長先生から心得を聞いた。明日は天氣ならば行くとおつしやつたので、空を見たらば雨雲が出てゐたのでうれしかつた。歸りに林田君と、あしたの事をはなしながら家についた。それから勉强した。實にけふの雨は面白かつた。晝から二人お客があつたが四時頃かへられた。僕はすぐ姉さんとお母さんとで西洋人のところにいつた。

△練兵場へ魚漁り 西大門小學校尋五 多田恒久

○七月二十五日(火)晴、日光はまた顏を出さない、高いポプラの木からはせみの聲がやかましく聞ゑる勉强をすまして練兵場の水たまりへ魚取りに出掛けた。淺い水の中をあるきながら魚を取るのは夏の遊には此の上もない樂しいものである。夕飯後散歩す、美しいキリギリスの聲が此の夕すゞみに物さびしくきこゑる九時五十分とこに入つた。

△お雛さん遊び 西大門小學校尋三 宮崎貞子

○八月七日(月)(天氣雨のちはれ)おさらひをしましてから、いもうと二人で、おひなさんあそびをしました。それから、おかあさんが『見なもんでちようだい』と、おつしやいましたから、もんであげました。それから林さんのところへ行つて、おにごつこをしました。

△鰕蟹を漁つた〳〵 西大門小學校尋四 村木繁郎

○七月廿二日 今日は魚とりに皆といつしよに行つた、れんぺい場の池でとるのに、とちうの川ではゐをとつた、池について見ると、靜かな山の下にある、僕は深いと思つてまん中にははいらなかつた、そのへりに小川がある、そこでだいぶざこをとつた、向ふは四人でくんでとつた、こちらは一人で取つて居るがざるが大きいから、深山とれた、向ふが鰕蟹をとつた〳〵といつたから僕も負けずにざるをすけて、向ふからおうてざるをあげて見たら、大きな鰕蟹が中にゐた、皆はすつぱだかに成つて、池の中でおよぎはじめたその時皆は、水の中で、びちや〳〵してあばれて水かけをした、それからかへつてごはんをたべた。

宮本武藏

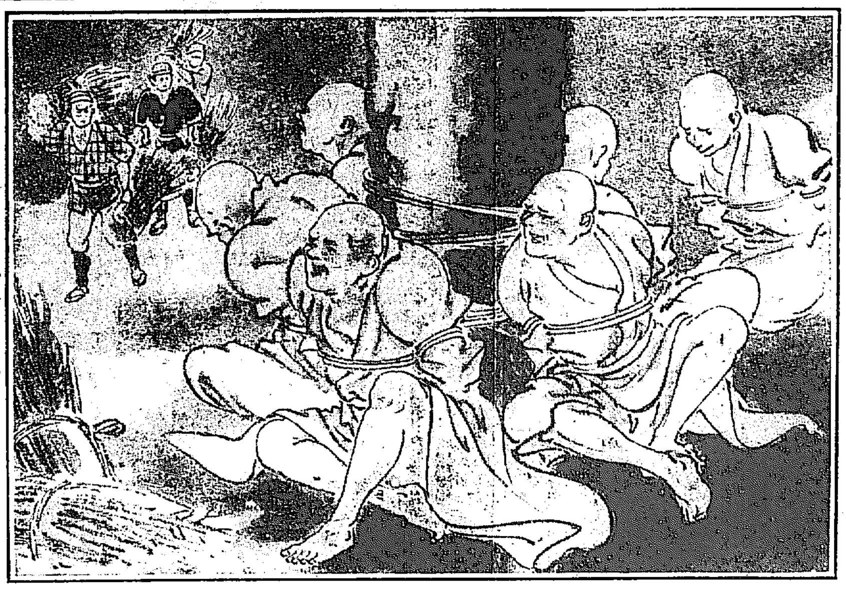
第百五十五回 桃川如燕口演 浪上義三郎速記

富岡の役人が願書を取上げて見ると

一、此度大江村治兵衛方へ諸國漂泊の浪人及び近郷の百姓共集り、切支丹の蕃像を懸け、彼の宗旨を尊み催ること御禁制の儀を豫て承知いたしあり作ら上を恐れざる段重々不屆の至りに奉存候に依つて此段御訴申上候

寛永十四年八月 六ケ寺判

としてある、役人大に驚ろいて早速三宅藤兵衛へ申し達しましたから城代家老三宅藤兵衛早速坊主を呼出して委細相尋ね、後は村へ歸して、代官中西十兵衛、目附役越智茂右衛門の兩人を呼出し『藤『其方共は之よりして二ケ寺の僧を案內いたし、治兵衛方へ參つて早速召捕つて參るやう、假令大勢集まるといへども百姓の事であるから先づ頭立つたものを七八人召捕るに於ては其餘は退散をいたすであらう、餘り事を荒立てんやう、重立つたものを召捕らつしやい』『委細承知いたしました』と兩人之から足輕五十人、仲間七十人を從へ、大江村へ乘込んで來た、處が大江村治兵衛方では葦塚、毛利を初めとして大勢の浪人共が愚痴の土民を煽動して頻りに天主教の有難き事を說いて居ります、數萬の信者は雲霞の如く處へ乘込んで來たのが討手の役人『役『コレ〳〵汝等に於ては天下禁制の切支丹を信仰いたすといふ以ての外の不屆者、速やかに退散いたせば宜し、さなくば誰彼の用捨はない、片端より召捕るから左樣心得ろ』と大音に呼はつた、けれども百姓一同夢中になつて居るから役人が何といつても耳に入らない、中西越智の兩人大音揚げて『ソレ片ツ端より召捕れ、速やかに召捕れ』と下知を傳へる、足輕仲間十手或は木太刀、六尺棒を打振つて『役『御用々々』と乘込んで來た、百姓共は大いに愕きワーツと散亂して右往左往に逃走る、越智茂右衛門一文字に乘込んで來ると山の如くに供へてある供物を足を擧げて蹴散らかし、屏風の前に懸つて居た天帝如來の畫像に手が懸ると『べり〳〵〳〵』と引裂いて傍なる火鉢の中へ投込んだからボーッと燃上つて忽ちの中に一片の灰となつた、之を見ると千々輪五郎左衛門大いに怒り『五『天帝如來の畫像を破る天罰、今こそ思ひ知らして呉れん』と柄に手が懸つたのが肥前國吉の一刀、拔も見せず茂右衛門を眞二ッに切つて落とし血刀振るつて突立つた、之を見ると中西が『中『以ての外の大罪人上役人を殺害いたしたる反逆人、其儘には捨置かん』と千々輪を目懸けて切つて懸る、途端に駈付けた大矢野松右衛門、大刀を閃めかして中西に切つて懸ると見る中に大喝一聲、中西の首を其處へ切つて落した、忠右衛門大音揚げたる事にして『ソレ捕方の奴輩を一人も遁がしてはならん、天帝如來の讐敵、速やかに召捕れ』と呼ばると百姓一同俄かに氣が立ち ○『天帝如來樣の仇だに依つて役人共を片ッ端から打締めて了へ』と獲物々々を持つて打つて懸る、足輕仲間膽を潰してワーッと敗走いたす、中に逃後れた後は大地へ坐つて ○『私は切支丹宗でございます南無天帝如來、ハライソセンスバリ〳〵』なんて遁て居る、淨明寺極樂寺の坊主は逃損なつて取掴まつた ○『サア此奴等が富岡へ訴たへて役人を手引したに相違ねへ、ソレ叩ッ殺せ ○『只叩ッ殺したのぢやア面白くねへ、打縛つて置いて火を付けろ、燒殺して了へ ○『之りやア宜い考へだ、遣つ付けろ』と大勢の百姓、淨明極樂兩寺の坊主を打縛つて松の木へ縛り付け、周圍に薪を積んで火を付けた、坊主は災難、生作らにして阿鼻叫喚の地獄へ墜ちたやうなもの、忽ちの中に黑燒になつてしまつたが、坊主の黑燒では何にもならない ○『ソレ手配をして片ッ端から寺を打壞して坊主を火焙にしろ』と百姓一同三十人五十人と人數を分け村々へ押寄せて十九箇寺出家六十三人といふものを燒殺して了つた、氣の立つた時といふものは仕方がないもので愈々茲に一揆を起すといふ一條。



九月十二日九星 舊八月十五日 壬子 本命九紫 南 平 佛滅

▲九紫● 尨大なる望の起る日請願新事見合西方吉 ▲一白● 無駄噺しの事ある日新事手控は吉又散財を防がるべし ▲二黑● 思はぬ儲け有日轉居入學等皆進で利有女子は一層よき日 ▲三碧● 吉利の日不圖立身出世の緒口を得る日轉居入學會談名刺家作求職婚姻… ▲四綠● 福運の… ▲五黃● 大望成就の日轉居入學會件… ▲六白● 諸の日新事手控… ▲七赤● 商事缺算を…

遊漁具■投網 四分目長二錢絹糸九百匁付極上麻糸製十匁付七分目五尺タンの他網系製六間五十錢カ等種々有之候 釣道具 投網其他漁網製造小賣 京城永樂町二丁目 吉備商會 監獄署製品販賣所 釣道具一式販賣地方特約店募集

…る事總て一種二…週間以内に制限…十錢書籍券を呈す（但何…記に限る）

目まい 立くらみ 腹いた 急病・流行病の特効藥 登錄商標 萬病感應丸 本舖 大阪 正野法橋玄三 江州 販賣店は全國有名各藥店

□ジヨキニカケテムシタムギ エイセイジヨゼヒメシマセ □電話にて御注文は多少に不拘御屆仕候 □ハガキ御注文は切手代御返し申候 滋養 の 適用 大福麥 京城南大門外 池田製麥所 電話七五九 振替口座二四七番

胃腸最新藥 チゲスチン 日本歐米十三ヶ國專賣特許 胃腸疾患、食慾不進重病後の恢復期、營養補給の目的にて肺の疾患小兒の營養不良等に賞用せらる 常用すれば血液を增し精力を盛んにす ◎說明書送呈 東京本町 藥種問屋 合資會社 圓城商會

質 京城黃金町二丁目 永樂町(停留所北入) 堀佐營業所 (電話六三九番)

朝鮮總督府許可 人參エキス 人參直引大販賣所 人參エキス 朝鮮名産 滋養藥 一切 京城本町一丁目 人參藥製造發賣元 津村兄弟商會 電話一四八〇番 振替京城三五二番 ■内用精 効能 神經衰弱、神經痛、老衰、痔病、胸病、子宮病、胃腸病、營養不良より起る諸病の滋養强壯劑なり ■外用精 効能 神經痛、僂麻質斯、火傷、凍傷、切傷、打物、腫物、肩凝、血時筋の蟄張れ等によし 定價 六十錢 一圓二十錢 二圓四十錢 三圓六十錢 特約店 北島藥房 古城藥房 廣岡藥房 松尾阿部藥房

別莊賣却 仁川柳町 土地 約六千坪 高燥 眺望佳絶 建物和洋折衷三構外に果樹二千本 仁川山手町二丁目 エ、エ、ウ ー

内科 胃腸病 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 二九〇九番

生徒募集 珠算速法百日稽古 九月十五日開始 自午後七時至同九時 修學期限百日間 入學生徒數約五十名 資格十一歲以上男女 申込所 希望者は來十五日迄に左記へ申込あるべし 仁川宮町 阪倉藥店内 仁川速算學會

東京製 雨合羽 旅行用具一切 色々 ゴム引マント 防水布外套マント色々 魔法瓶 中瓶 取替 洋傘 卸 小賣 高木商店 京城本町一丁目 電話一三四番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 振替貯金口座京城八一四番 京城黃金町 電話四〇五八番 同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

大日本陰陽學會朝鮮支部新設 會長 吉田學明師

先般來當地原金旅館に滯在し一般の鑑定需に應じ候處鑑定希望者多數の爲左記に支部を設け從前通り鑑定需に應ず (鑑定料 觀相五十錢 當用易斷一圓) 京城本町通り三丁目 大日本陰陽會朝鮮支部執事敬白

商標 最上醬油 京城本町三丁目 田中支店釀造 電話七六四番

鑛山營業 各種礦石買入 重石買入 Ⓚ 京城鍾路二丁目九九番地 金石商會 電話一八九九番 ▲鑛物定量分析 ▲鑛山測量製圖

夏季の下痢腹痛は黴菌性の物多し

故に柏村博士の殺菌力あるヘルプが一番よい！

夏季の下痢病は不消化と黴菌性の者多し、故に止瀉藥は醫學上殺菌力ある劑藥ならざる可からず

◎然るに從來の賣藥は單純なる下痢止にして消化と殺菌に注意せし物なし

下痢は止れども腸胃を害ふとは單純なる收斂劑、又は糊などにて固めたる丸藥の受たる批難也

柏村博士創製の**ヘルプ**は是等の缺點を考慮配劑せる最も理想の腸胃藥也

本劑の眞價認められ舊式の下痢止め劑は一掃されたり

定價 ▣十錢 ▣二十錢 ▣三十錢 旅行用ポケット型 ▣五十錢 徳用 ▣壹圓 ▣貳圓五十錢

効能

◎食傷◎食過◎時候あたり◎水あたり◎消化不良◎寢冷◎冷腹等腸胃の故障より起る▣下痢腹痛▣吐瀉▣澁腹▣腹瓦斯を止め▣腸加答兒▣胃加答兒を治す

ヘルプ特長

ヘルプは宮内省侍醫柏村博士の創製に係る腸胃藥にして、健胃、整腸、收斂、鎮痛、消化、殺菌、防腐の諸作用を具備する理想の良劑なれば、右の諸症に卓効あるは勿論常に少量を用ゆれば腸胃を健全ならしむ、故に惡疫流行の時又は風土病ある地域に旅行する際等は必ず常用して腸胃の健康を保護せらるべく、又家庭の常備藥として必ず缺くべからざる物なり

且ヘルプは從來の腸胃藥が糊などにて固められ却つて腸胃を害する事あるに顧み、是を最新式の錠劑となしたれば、溶解容易、何等腸胃を害する恐れなく其奏効又迅速なり

本舗 東京日本橋本銀町三丁目 津村敬天堂 振替口座東京八六四番

■取次は全國到る處の藥店にあり品切の時は本舗へ■

最高滋養

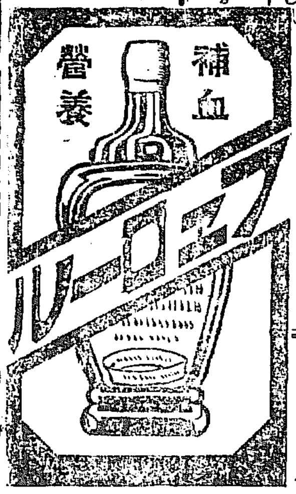
美味と滋養の新發見フェロールの特長

賣捌各藥店 賣捌なき地方は本舗へ注文あれ小包便出荷す （說明書申込次第進呈）

病床にフェロール	◎最良の營養となり醫藥の効を大にす
病後にフェロール	◎體に力を附け老衰疲勞衰弱を恢復す
虛弱にフェロール	◎血を增し氣力を增して健康ならしむ
活動にフェロール	◎著しく精力を强め活動の能力を增す
フェロールの滋養	◎最近醫學上人體必須の成分より成る
フェロールの美味	◎病者小供お婦人達に適し藥の氣味なき佳品なり
フェロールの光榮	◎高貴方の御用を蒙る

病者方は醫藥と併用あるも差支へなし

大瓶廿日分 壹圓七拾錢 小瓶十日分 壹圓也 試用二日分 貳拾錢



創業元 大阪道修町 小西久兵衛

MITSUWA LIQUID SOAP.

Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can.

It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even a tenderest skins.

Used systematically for shampooing, it acts as a spur to natural processes in maintaining or restoring the vitality and lustre of the hair.

Price 50 Sen.

馥郁たる芳香を有する純良化粧用水石鹼發賣

◎ミツワ水石鹼

定價金五拾錢

技師 工學士 藤野太治郎

ミツワ石鹼が品質純良にして皮膚毛髮の洗滌に適し、衛生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹼も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹼には刺戟甚しく皮膚毛髮を傷ふもの多きに反し、此水石鹼は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て製造せられ、洗滌に際して適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、殊に此◎ミツワ水石鹼は鑛泉温泉冷泉等に用ふるも、能く洗滌の目的を達するが故に、皮膚の分泌夥多にして而かも皮膚粗糙なる本邦人の化粧用石鹼として、皮膚毛髮の洗滌に缺く可からざる理想的逸品なり。

（現品實寫圖）

ミツワ石鹼 ◎ ミツワ家庭藥

東京市日本橋區橋町四丁目 振替東京七一〇番 丸見屋商店 營業部電話浪花三〇〇四四八・四廿九・四五〇番

京城日報

第三版

十一日朝刊 (夕刊と合せて八頁)

發行所 京城大平通一丁目 合資會社 京城日報社 振替貯金口座京城三〇〇番
發行兼編輯人 奧田直毅 印刷人 小川三之介

せつゝ各地方報告所より報告せる所大體左の如く[illegible]地方一部を除く外[illegible]

高粱は大暑後の天候之に好適にし[illegible]良なり大豆は害蟲の被害[illegible]作より約一[illegible]
前年に比し二割以上增收の作柄な[illegible]良好にて爾後の天候に急[illegible]
粟は生育順調にて八月七日出穗期迄[illegible]激の變化なからんには平年作に比し
高粱は八月中旬の降雨なからんには無比の豐作なりしならん目下の狀況
▲大石橋 特別低地にして浸水の被害ある處は概して平年作なり、高粱は[illegible]高地は旱魃のため幾分收穫に其し劣るも平地は平作以上なり一般に生育は前に遲る粟は平年作と見得べし
▲延房店 大豆高粱粟其他雜穀は生育良好にして稈の伸長も充分なり何
減收高粱粟包米は平作なり水稻は稀有の豐作に[illegible]二割の增收
[illegible]の豫想なり熊岳城の果樹も又稀有の豐産なり(大連)
果は螟蟲の被害多[illegible]

京城日報 注意すべき戰鬪

最近巴爾幹に於ける重要戰鬪は、羅軍對獨勃軍間に行はれつゝありて匈牙利トランシルヴアニア州に進入せし羅軍は、オルソヴア、テメスヴアを砲擊し、オルソヴアは遂に、羅軍の占領に歸し、同軍は益々優勢を持續して、更にセブシ、セント、ゼルヂーを陷れ、ホルツエケット地方を確實に占領し、ドブルヂア國境に亘れる羅軍は、獨勃軍に對して、戰鬪を繼續しつゝありしが、獨勃軍はツトラカンを占領し、勃軍はドブリツチを占領せりと報せられ、露軍も亦、ドブルヂアに入り、初めて勃牙利軍と會戰しつゝありと、一方ブカレスト公報に依れば、獨軍の東部羅馬尼亞侵入は、失敗に歸し、羅軍はダニユーブ河以東の、國境全部を保持しつゝありて、露軍はダニユーブ河と、黑海との中間に於て、ドブルチアに前進しつゝありと報せらる、之を要するに、當方面の戰鬪は、未だ進行中にして、其の勝利の、何れに歸するやは、尙ほ分明せざるも、此の戰鬪に於て、羅軍の勝利に歸せんか、茲に愈た、其の蹶起の價値を、充分に分明ならしむると共に、獨墺勃側の被るべき打擊の、甚大なるものあるは、爭ふべからざる見解なりとすべし。云はゞ此の一戰が、所謂天下分目の、最重要なるべきを察するに難からざる也。

始め羅國の宣戰と共に、獨逸が直に、參謀總長の更迭を行ひたるも、茲に大に見る處ありたるに據るべく卽ち獨帝が時局の、益々難澁ならんとするに焦慮し、沮喪せんとする國民の意氣を、激勵せんとするに外ならざる也。而して新參謀總長ヒンデンブルグは、此際策戰計畫を一變し戰線の縮少を、圖らんとするにあるもの、如し。是迄東西戰場に於ても敵軍の進出、攻擊旺にして、殆ど他を顧るの餘地なかりしも、羅國の蹶起は、墺國を非常の窮地に導きたるのみならず、其のダニユーブ制河權は、土獨間の糧道を遮斷するに至れると共に、露軍のドブルチア侵入とサロニカ聯合軍の進出とは、實に勃牙利をして、孤立無援の狀態に陷らしめ、今や巴爾幹同盟軍側の形勢は頗る危險に瀕するが上に、前記の如く羅軍の、トランシルバニヤ侵入は匈牙利に直接重大なる打擊を與へ、墺國に對して、軍事財政上、其他の不平鬱勃たりし匈牙利は、如何なる態度を以て、時勢に當るやも計られず、或は窮餘、單獨媾和の擧に出でんも、亦期すべからざれば、結局匈牙利國內は、混亂に混亂を重ね、遂に集拾すべからざるの狀況に立ち到るやも知るべからず、斯くて巴爾幹の形勢は、將に一變せんとするの、傾向を示すに至りたれば、獨逸は此際、墺匈國を救護すると共に、巴爾幹方面に對し、何等かの新行動を、執らざるべからざるは當然なり。されば相當、兵力の移送を以て、焦眉の急とせんも、國內兵員の不足は、夙に隱れもなき事實なれば、新に募兵を以て、之に應せしめんとする等は、到底不可能事に屬するを以て、要に最後の手段としては、其の戰線を縮少し、以て巴爾幹送兵の擧に出でんとすべし。其の孰れの方面に於ける、戰線を縮少すべきやは、勿論不明なるも、之を推察するに、西部戰線に於て、其の縮少を爲し、萬一英佛軍の擊破侵入を見んも、獨逸には尙來因の險あるを以て、寧ろ此際の計畫は、所謂背水の陣として、飽迄東部方面及び巴爾幹方面に於て、最後の活躍を、試みんとするに外あらざるべし。從て今後の戰局を論せんとする者は、獨軍の巴爾幹に對する、策戰行動に大に注意せざるべからざるは勿論也。

郵便爲替雜話(二)

矢野通信課長談

(三)英米にもなき便法

(B)證書送達 通常爲替證書の差出人は當局郵便を以て爲替證書を送付するときは少なくも金十錢を要するも爲替振出の際證書送達を請求するときは通常爲替證書一枚に付金五錢にて足るの便法あり此方法たるや郵便局より直接に受取人へ宛て、爲替證書を送付するものなるを以て差出人は證書送付の爲め何等の手數なきものにして實に安全且つ低廉なる一種の送金方法なりとす

(C)高額爲替 爲替證書一枚の最高制限額は原則として金二百圓なりと雖も多額の送金者に於て不便なしとせざるを以て遞信局長官の認可を受けたるものに限り一般規定の制限額以上の通常爲替又は電信爲替となすことを得べし

以上述べたる事項は何れも英米等に於て未だ實施なき便法なりとす

(四)ナイチンゲール孃は爲替事務にも功勞あり

クリミア戰爭の際從軍せし英國の軍人軍屬にありては本國への通信の利便はありしも爲替事務の開始なかりしが爲め本國に在る家族へ宛て、送金せんとするも其方法なかりしを以て何れも困惑したりしかばナイチンゲール孃は彼等の不便を救濟せんが爲め一週五十磅以內に限り送金の便を計りたりしが千八百五十六年に至りては郵政當局に於ても遂に軍事郵便爲替の制度を採用することゝなれり之れ英國に於ける外國郵便爲替の嚆矢なりナイチンゲール孃は赤十字の爲め其功績多大なりしのみならず爲替事務に就ても亦功勞少なからずと云ふべし

(五)郵便爲替は銀行爲替業務に影響する所少なし

何れの國にありても郵便爲替なるものは原則として少額の送金を目的とするものなるを以て比較的多額の送金を目的とする銀行爲替業務に影響を及ぼすこと頗る少なし例へば我國に於ける通常郵便爲替の證書一枚の平均金額は三十三圓八十錢にして小爲替の如きは三圓十五錢に過ぎず又英國の如きは通常爲替は平均四十一圓小爲替は三圓六十錢內外にして米國にては郵便爲替一枚の金額十三圓二十錢と云ふが如く何れも其平均金額及び最高制限金額の少額なるを以て郵便爲替業務は銀行爲替に影響する所少なきのみならず銀行は郵便局所の如く其數も多からず且つ普及不完全なるを以て爲替機關として郵便局所は實に必要缺くべからざるものとす卽ち或る地方宛の爲替は銀行爲替を利用し能はざるを以て銀行自身にても郵便爲替に依りて送金する場合頗る多しとす

▲附言▲ 米國にては郵便小爲替の制度なきを以て爲替一枚の平均金額は他國に比し少額なり

放浪漫記

八月十日シンガポールに於て 大谷光瑞

(承前)バナナは最も普通の熱帶果實なり、其味亦普通にして恰かも米飯を食ふて異常の感なきが如し、然れども週年之を食して飽かざるは又其味の美なるによる、この果實其種頗る多しと雖も最良の物は却て其形の小なるにあり、支那歷代熱帶果物の隨一として膾炙せる荔枝はネフエクユム、リチーと名くる樹の果實にして支那南部を原產とせり、今は北印度一帶に栽培し優良の產少からず是と同種にしてネフエクユムラッパキユムと名くる樹に產するランブタンと稱する果實あり、馬來の特產にして味亦荔枝に讓らずと雖も、肉と核と固著し之を食ふに便ならず、柑橘は一般に熱帶植物なり本邦各地產せざるに非らず多くは、溫帶果物の如く感せりと雖も、本邦產の如き溫帶柑橘は酸多く甘少く美味ならず、南支那及び印度は最も良果を產せり然れども周年同一溫度の馬來の如きは又適當ならず、少なくも少期間の氣溫冷却を要す、故に支那印度大陸の如きは熱帶にあるも冬季氣溫の冷却あるを以て之に適せり、福建廣東の產は東方の雄にしてナグプルの名は全印度に及べり、是の果はヅリアンに反し芳香馥郁鼻舌相反するの憂なし、一般に果實は花に比し芳香に乏しと雖も、是の種に在ては花と頡頏するもの少からず、レモンの如きベルガモットの如き實に芳香の原料たり、柑橘の最大なるをブメロとしシツトラス、デキユマナの果實なり圓形にして徑九吋に及ぶもの少なからず、一般に熱帶に產すと雖も暹羅最も名あり、フオエニツクス、ダクチリフエラと名くる椰子狀の樹の果實あり、デートと英人は稱せりこれ熱帶より亞熱帶に及べりと雖も、無雨乾燥の地に非らざれば生せず、故に西アジア北アフリカを產地とせり果實は形味共に棗に酷似せり故に歐人は支那棗實を誤認しデートと稱するに至れり、味は棗に比し更に甘味なく、波斯メソポタミアは古より著名にして唐書西域傳は鶻莽棗と記せり、是れペルシヤ語クミスの音なり棗の字は其形味により唐人の附せしところにして歐人の誤稱と等し、印度極西境は產せざるに非ずと雖も、これより東方は不可なり乾果として一般に輸出せらる其他熱帶果物甚だ頗る多し一々之を記せば煩に失するを以て記せず、年首上海香港に在りて十分に柑橘を食ひ、而して印度に航し又ナグプール柑に飽き、雪山の淸涼に閑居して五月の來るを待ち、ボンベイ、アルフオンクの美を味ひ漸く稀なるの後去て馬來に至らば、既に七月に近くヅリアン、マングステン等正に果物繁盛の期に入る、五旬是に飽かば北航東亞細亞に秋果の美を享くべし、然れば週年果實の美に飽くべく大牢の豐饌なきも亦悲むに足らざるなり、唯夫身强健にして罪累なき放浪生活に非らざればこの天與の福を享く能はず、[illegible]は實にこの幸福を享受し中心より[illegible]致居候。冗言を淸聽に達し[illegible]に御座候 草々不一(完)

日報詩壇

○松陰讀書 大隆 鳩仙

浩浩天風入悟玄。松陰半日養心田。楞嚴讀了茶餘外。山色白雲自在禪。

評曰 雨靜

○同上 栗原 華陽

轟轟長松凌碧天。淸風不盡日如年。畢書一帙讀無倦。身在塵寰心欲仙。

古松蔭蔭覆階除。盛夏如秋涼有餘。遮莫今人嗤我癖。淸陰愛讀昔賢書。

評曰 脫俗

○曹溪禪坊小集次如水韻 渡部 桃蹊

禪詩來歎話山房。一炷香煙繞檻長。半日淸遊忘半世。松風如水滿庭陽。

評曰 卽景生情饒有風致

○同上次韻 石瀾

無復紅塵到滿山。松聲似水碧湍湲。醉將吟詠永今夕。人世百年誰究閑。

評曰 一氣渾成

○閒居夏夜 西田 白隣

潮聲松籟繞閑窗。淨碧天南皎月明。獨坐涼棚風四面。心頭熱散一身輕。

評曰 此詩一誦如服淸涼劑

日報歌壇

(阪大石付い紅葉岡にて)

しとゞふる雨にやたへず柘榴の赤き一と花地に落ちにける
旅ごゝろうちもたしつゝわくら葉の夕さり土に落ちし音かも
兄君の文したまへば先づ兄のわが名のたまふ聲きくらしも
撫子の赤き花びらしぼけなく雨にもたへずうちなげきつる
はらからの便りやめられず夏の夕さびしきかもよ蟬なきやます
夕さればかなしきかなや黑き土ほのに息して吾は旅に病む
弟よいかにしあらむ旅に病む兄はもたれを思ひ得べきます
すこやかに强くませかし兄君よ蜜柑畑の柑子青しも
病み瘦せし頰のさびしや顏洗ふ朝のかゞみにうすわらひつゝ
日を一と日默して過ぐる旅に病むわくごのうれひ陽はたゞれ落つ

十月號出來

幼年の友

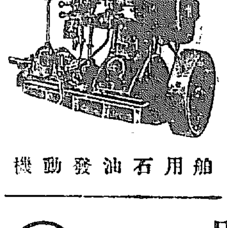
特別附錄 お伽家族合せ

毎號變る ▲ハダカ殿樣 ▲我儘子供と小島の親切 ▲フシギ問答 ▲狐と蟹 ▲リボンの作り方 ▲假裝行列 ▲夜間飛行 ▲猿の曲藝 ▲夜叉若丸

一冊十二錢 郵稅五厘 半年分七冊八十錢

實業之日本社 東京京橋南紺屋町 振替口座三二六番

(カタログ進呈)



船用石油發動機

品質本位 船舶用 陸用 石油發動機

東京市麴町區有樂町三丁目五番地
株式會社 新潟鐵工所東京出張所
電話新橋(長)九九六・九九七 電略(ニト)

最新 銀行會社 事務講習錄

見本附會則申込次第進呈 東京牛込區西五軒町

就職難を緩和する安全なる立身出世の途は開かれたり本會は實業家養成唯一の機關也 銀行會社事務講習會

日韓書房

新版報告

松本嵩著 最新東蒙古大地圖 定價八十錢 送料六錢
森田幸次郎著 常識養成 碁道大觀 定價一圓二十錢 送料十八錢
岩崎直子著 安產のしるべ 定價九十五錢 送料十錢
林雁金小共編 置碁石立 上卷 定價四十八錢 送料八錢
少年通俗教育會編 少年百譚 歷史の庫 夏部 定價五十五錢 送料十錢

京城本町二丁目 日韓書房

▲日鮮人受驗者唯一の指針▼

朝鮮諸官廳受驗講義錄

短語、會話、作文、漢文、歷史、地理、算術、法學通論、行政法講義、現行朝鮮諸法規、各官衙學校試驗案內等朝鮮諸官廳受驗參考科目一切網羅シテ剩ス所無シ七冊ニテ完結、全部完成壹圓九拾錢送料十二錢、全部ニアラザレバ需メニ不應來ル十月八日より總督府及各道廳に於て擧行セラル、日鮮人文官屬員試驗ノ唯一ノ指針ナリ

電話一一二五五十番 振替貯金京城一二九二 京城旭町二丁目(朝鮮雜誌社內) 朝鮮斯文學會

製造元とのやくそくで

砂糖、麥粉、蠶、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙類、乾物、罐詰、ビール、サイダー、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋、其他の日鮮人向雜貨食料品

割の安い品そろいの

大おしろ店 仁川本町 河野本店 電話二八番 振替京城一一二二番

堀井謄寫版

堀井を冠せるもの斯界の白眉なり 粗惡なる模造品に迷はさるゝ勿れ

京城南大門通二丁目 (堀井)謄寫堂京城出張所 電話四〇二番 振替口座京城一〇五八番

鷺村成嶋淑士編著

朝鮮名勝詩選

(今回五百部を限り 特價八拾錢)

四六版最美本 六百三十頁 定價金壹圓卅錢 郵稅金拾錢

鷺村成嶋氏は詩人にして又劍客なり併合前未だ韓國政府時代に夙くも渡韓警察官となり劇務に鞅掌する傍ら鋭意半島古來の文章を繹ね特に名勝詩賦の蒐輯に志し眼を舊記に曝らし遍く諸家の稿本を涉獵し或は親しく實地を踏査し收むる所實に二千有餘篇に及び名けて朝鮮名勝詩選と云ふ輯集する所新羅以降李朝各代に大家の吟詠に係る金聲玉音にして優に其時代の文章を代表し餘あるのみならず其地理沿革傳說等に至る迄之を擧げ巨細を悉し不滅の光輝を生ず燈火親む可き季節劈頭の好讀物也

賣捌元 京城大平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報代理部 日韓書房、巖松堂其他各地支局
大取次 大阪屋號

新刊書御案內

書名	著者	定價
世界の變局	德富猪一郎	四五〇
戰爭と國際法	立作太郎	三五〇
時事連想	田尻稻次郎	三五〇
喜多流四番綴	喜多六平太	三五〇
世間學	村上浪六	八五
諷刺選擬 大英國の危機	宮家壽男譯	七五
英朋畫集うた姿	鏑崎英朋	一五〇
小說歌まくら	靑木緑園	五〇
自然さ愛	金子薰園	五五
巫女殺し	上司小劍	五〇
小夜ちどり	長田幹彥	四〇
醫界珍聞錄	山本宮市郎	四五
戰線に立ちて 一名獨乙の肉彈	芹澤登一	一〇〇
朝鮮より	宮原穠村	五五
中正大納言 後編	羽田瑠璃園	九〇
手輕に出來る家庭西洋料理	櫻井かね子	六五
井上英和中辭典	井上十吉	一三〇
滿洲寫眞帳	滿洲出版部編	一〇〇
大正琴自由自在	幸山城人	二五〇
受驗必携朝鮮行政法規大意	安達大壽男	四〇
同會話譯文速成	同	四〇

京城本町 電話二〇八六 振替京城二五七三 大阪屋號書店

Mバラタベルト

弊社製バラタMベルトは純良なるバラタゴムに精撰の生地を配合し表面に特種の浸透性塗料を施して製作せる故伸びず縮まず酸氣或は濕氣に對し變質の虞なく諸鑛山、工場に使用の木綿調帶として最も優秀なり

Mベルト

(一尺ノ代價)

幅	三枚合	四枚合	五枚合	六枚合
吋	圓 十 錢	圓 十 錢	圓 十 錢	圓 十 錢
1	.12			
1½	.17			
2	.23	.36		
2½	.33	.46		
3	.42	.58		
3½	.53	.68		
4	.59	.79		
5			1.22	
6			1.54	1.77
7			1.76	2.01
8				2.43
10				3.27
12				4.10

(カタログ及見本送呈)

本社 東京市芝區柴井町十八番地 木綿調帶合資會社 電話芝三四二九番
工場 東京市深川區[illegible]町十二番地

鄭家屯事件交渉延期申出

支那政府は鄭家屯事件の交渉を唐紹儀氏就任迄延期せん事を申出たるが林公使は之を拒絶したり（北京電報）

米價調節原案可決

農商務大臣に上申す

米價調節調査會は去る四日より五日間に亙り開催し特別委員會に於て決定せる恒久的調節法案の審議を重ね原案全部を可決し九日之を農商務大臣に上申せり而して調節方法の實行如何は省議決定後ならざれば明かならざるも

▲上山次官の語る 處に依れば農業倉庫設置獎勵案は既に本省に於て多年研究の結果國家經濟の發展策として之が設置の必要を認め明年度より毎年二十萬圓宛を支出し十年繼續の下に農業倉庫設置に對して補助を爲す事に決定し來る議會に提出する筈なり又米の加工及び之が改良法研究案は調節の目的と否とを問はず其必要を認むる所なれば近く案を定めて其研究に著手す可く統計改善案收穫豫想發表方法改正の如きも既に其の必要を感じつゝある際なれば是れ亦適當の方法を定め實行せんと欲す其他低利資金の融通關稅制度改正精米市場整備案米穀輸出獎勵案等は關係する處多きを以て關係當局並に當業者とも打合せ最善の方法に依り實行方法を定め米價調節の實を舉げんと欲す（東京特電）

合同實現か

與黨合同計畫は個々の勸誘効を奏し九日迄の報告に依れば公友派中贊成に記名したるもの二十二名を算するに至り猶ほ交渉中の者あれば結局二十五名に達す可き形勢なり此れに中正會の二十五名同志會の百五十三名を合すれば最初に豫期されたる二百名に達す可き事確實となりたるを以て近く合同の實現を見るに至る可しと觀測さる（東京特電）

本朝御出發

閑院遣露宮殿下

閑院大將宮殿下には愈々十一日午前八時半東京驛發汽車にて露國に向け出發あらせらるゝに付隨員內山侍從武官長兼途公使中島少將以下一同は十日午前九時より式部長官室に參集最後の準備打合を爲し正午散會せり（東京特電）

海軍航空演習

青森の聯合艦隊演習に參加

海軍航空隊は近く青森灣に行はるゝ聯合艦隊諸演習に參加し偵察著彈觀測爆彈投下港灣巡航等の飛行機演習を爲す可く原田若宮艦長指揮の下に永峰別府和田の各中尉並に準士官七十二名隊長井上大尉に引率され十日午後三時青森に向け出發せり（東京特電）

判任文官等行賞期

日獨戰爭に關する

日獨戰爭に關する內閣を始め各官廳（陸海軍兩省を除く）判任文官及び兵事務に從事したる各府縣市町村長公吏等の行賞は目下各官廳にて調査中なるが本月下旬頃には內閣に申達し賞勳局に於て詮衡調査の上各議定官の會議に附し上奏御裁可を仰ぎ發表の筈なるが其人員は約一萬五六千名の由にて行賞範圍は勳六等以下勳八等瑞寶章及び賜金等にて十月下旬發表せらる可しと（東京特電）

塹壕奪取

見事なる襲擊にて

巴里來電＝公報に依れば、佛軍は九日午後見事なる襲擊に依りてフルーリー東方獨軍塹壕の一部を奪取せり（紐育電報）

本年記念植樹

二千四十七萬本に達す

本年四月三日總督府並に各道に於て實行せる第六回記念植樹は植栽本數ニセアカシヤ六百五十五萬本、アカマツ五百萬本、クロマツ百五十七萬本、クリ六十五萬本、クヌギ百四萬本、白楊樹類三百七萬本、其の他二百五十九萬本、合計二千四十七萬本にして之れに參加したる人員實に七十五萬餘人に達せり、而して之を道別に比較すれば植付本數は江原道の二百八十八萬本最も多く平安北道、平安南道、咸鏡南道、慶尚北道、忠清南道、全羅南道、慶尚南道、京畿道、黃海道、咸鏡北道、全羅北道、忠清北道順次相亞ぎ參加人員は咸南最も多く平北、慶北、京畿、忠南、全南、平南、黃海、江原、全北、忠北、咸北、順次相亞げり、更に今回の植樹本數を第一回に比すれば千五百八十萬本、第五回に比すれば五百九萬本の何れも增加を見たり之を產苗別に內譯すれば左の如し

種別	第一回	第五回	第六回
養成苗	[illegible]	[illegible]	[illegible]
挿木	[illegible]	[illegible]	[illegible]
天然苗	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右表に依つて見るに植栽後の成績一般に不良なる天然苗の追年增加しつゝあるは遺憾とする所なるも之れ記念植樹の衆が未だ養苗事業の行はれざる山間僻地にまで普及し從つて養成苗の供給充分ならざる爲め天然苗を植栽せるに因るものなり、斯くの如く記念植樹は年と共に盛况を呈し回を重ぬるに從ひ其の成績も亦見る可きものあるは一般人民が植林思想の向上に依るものにして斯業の發達に資らす効果鮮少ならざる可し

昨年の鑛產額

大正四年中に於ける鮮內の鑛產額は各鑛種を通じ一千五十一萬五千九百六十六圓にして之を大正三年中に比すれば百九十九萬餘圓の增加を示せり而して前記鑛產額を人種別に見るに最も多額を占むるは外國人にして七百三十一萬一千二百餘圓內地人は二百八十二萬六百餘圓にして外人に較ぶれば殆んど三分一に過ぎず、又た朝鮮人は僅に三十八萬四千餘圓に止まり外人に比し約二十分一內地人に比し七割強に止まれり、尙ほ鑛產額を鑛種別に示せば左の如し

種別	價額	種別	價額
金	[illegible]	鐵鑛	[illegible]
金鑛	[illegible]	亞鉛鑛	[illegible]
砂金	[illegible]	黑鉛	[illegible]
[illegible]	[illegible]	石炭	[illegible]
[illegible]	[illegible]	其他	[illegible]
		總計	[illegible]

堤堰洑の修築

從來灌漑の目的を以て開鑿されたる堤堰及び洑の數は各道を通じ堤堰六千三百八十四、洑二萬七百七を算せるが其の內大正四年度末までに於て修築を了し灌漑の便を恢復せるは堤堰一千二百三十九洑二百三十八にして堤堰五千百四十五及び洑二萬四百六十九は尙ほ未修築に屬せるも此の內には本年度に於て修築さる可きもの並に改築を要せずして從來の如く灌漑の便あるもの又は水利組合其の他の設備に依りて最早修築の必要なきもの等尠からず而して各道中四年末までに於て修築個處の最も多數を計へしは堤堰に在りては全北の三百五十四を第一とし全南の三百七、慶南の百五十四忠南の百四十五等順次相亞ぎ洑に在りては黃海の六十四を筆頭に慶南の五十八京畿の四十二平北の二十六等之れに次ぐ又最も少きは咸南にして堤堰は未だ修築されたるものなく洑は漸く三個に過ぎず江原道は堤堰洑とも各一個なり

灌漑事業經費

總督府最近の調査に依るに大正五年三月末迄に於て水利組合又は個人の事業として許可したる灌漑事業は各道を通じ水利組合十三箇所此の灌漑面積二萬五千百十七町歩個人事業三十二個其の灌漑面積四千三十七町五反歩にして之れが經費は總計四百二十五萬三千五百二十九圓なり

清會線工事

朝鮮鐵道清津會寧線の工事狀況を聞くに清津慶興間十四哩七分は土工八分八厘方橋梁六分四厘方の進捗にて古茂山金巨里間十一哩八分は土工九分橋梁七分成工金巨里鰲山間は七哩四分は土工五厘橋梁四厘又鰲山會寧間十哩九分は土工工事三分五厘橋梁二分六厘工事を竣れるが鐵道列車は清津より三十二哩餘蒼坪假停車場附近迄運轉せりと

朝鮮の簡易保險

法案の精神と內容

池田遞信局長官談

朝鮮に實施すべき簡易生命保險法案は內務省の參事官會議を經たるを以て不日法制局に廻附する筈なりとて東電は其の內地法との相違點を報じ來りしが右の相違點に付池田遞信局長官は語る朝鮮簡易生命保險法案が內務省參事官會議に附せられし事は知つてるが其の通過に就ては未だ確報に接せぬ、但し遞信局よりは東上中の遠藤副事務官は目下細の說明に當つてゐる筈だ

▲法案の精神 は大體に於て內地法と同一だが朝鮮の事情及び民度に鑑み若干相異の點はある、京日の東電にある第一『保險失効の場合に於て朝鮮人の被保險者に對しては其の積立金を返還せず』とあれは事實である、然し此の條文のみを正解すると如何にも國家は朝鮮の被保險者に對し慘酷で契約以來積立てた保險金は全部國庫に沒收する樣に思へるが事實現金では渡さぬけれど契約に相當する『保險證券』で渡すのである、これ現金で渡せば鮮人は又直ちに費消し終つて簡易保險制定初期の目的に反するからである、第二は朝鮮の

▲保險失効期間 は內地よりも除程永くなる筈である最終の決定は急う定まるか知り難いが、吾々の立案によると內地は拂込み懈怠二月に及ぶと失効し復活の手續を要するやう記憶するが朝鮮の猶豫期間は六箇月を共間失効せず然も其後の六箇月間に復活の手續きをやれば効力を繼續する事が出來るやうにしてゐる、これ抔は大に低い鮮人の民度を參酌した結果だ、第三に內地では遞信大臣を會長とし保險契約に關して起る

▲紛擾の審査機關 を設けてゐるが朝鮮に此の制度を組織せず若し被保險者より保險當局の裁定に不服を申立てそこに當局との所見が一致しない事とならば直接被保險者より裁判所に民事訴訟を起さしむる事とするかそれでは餘り酷いから或は再び保險當局に再審を申告し得るやうにするか二途其の一を執ることとなるであらう、法案として內地法と相違點は外にもあるけれど大體其の位な所だ、施行規則に於て定むる朝鮮の保險料は內地より些さか高くなら、それは朝鮮の死亡率が內地より聊さか多いらしいからである、尤も朝鮮には內地のやうに精確な統計の據る者がない、年併警察などで多年調査したものを見るに衞生思想等の關係よりか內地に比し死亡率はどうも高いやうだ、但し保險料の差は極めて僅かなものではある最後に

▲在鮮內地人 に適用する簡易保險法は朝鮮のと同樣なもので施行期は法案が今期議會を無事に通過した所で準備の關係上早くて明年一月當りであらう

談合と行政處分

鐵道局にては過日大邱地方法院にて有罪を宣告されし第一第二談合事件關係者に對し行政處分として當分工事受負の指命を停止したるが其の指命停止期間は第二第及び第三審の結果により定むべく其間多少不便あれど殘餘受負者のみを工事入札資格者とすべし尙ほ朝鮮受負業者の巨頭等分の間殆んど全滅せし爲め內地より斯業者の渡來なきやを懸するものあれど目下の所さる形跡なしと

駐剳軍演習

朝鮮常設師團決定後の第一年たる今秋の朝鮮駐剳軍秋期機動演習に付軍司令部某參謀は曰く本年の大演習は第十九師團の第卅七旅團羅南第卅九旅團（平壤）并に第四十旅團（大邱）を基幹とし第卅七及び第三十九兩旅團には騎砲工兵の若干部隊を附し第四十旅團には鎭海重砲兵の一部及び龍山騎兵中隊を附する事となるべし而して日時場所及び統裁官を擧ぐれば羅南旅團を基幹とする北鮮駐屯隊は十月六日より十日迄にて場所は大體に於て羅南咸興の間と見るを至當とし統裁官は大村信行少將之れに當り羅南步兵聯隊及び咸興步兵聯隊の主力對抗となるべく平壤旅團の平壤聯隊及び龍山聯隊の主力對抗演習は黃海道沙里院黃州附近を中心として行はれ市川堅太郎少將之れを統裁し時日は北鮮と同じく十月六日より十日迄なり更に大邱第四十旅團の大田大邱兩聯隊主力對抗は十月廿日より二十三日迄にて金久保少將統裁し場所は湖南線連山附近を中心とすべし無論西北南鮮共大演習開始までに小隊中隊大隊の對抗小演習を行ひつゝ漸次演習地方に集團し來るものにて九月末より西北鮮地方は壯快なる銃砲の音を聞くに至らん尙ほ秋山軍司令官立花師團長白水軍醫部長本田參謀長は何れの方面に出張觀戰するか目下の處決定し居らざれど其の出馬は必らず事實となるべし

秋山將軍檢閱

秋山駐剳軍司令官は十二日より諸部隊の檢閱を開始する由なるが先づ龍山駐剳の第十九旅團管下步騎砲兵隊より開始漸次地方に及ぼすべし

製鐵長官視察

押川製鐵所長官は支那視察の途中來る十八日頃內地出發陸路を朝鮮に執り二十日前後兼二浦鐵山を經て鎭南浦に一泊の上北行すべしと因に京城にも多分一泊するに至るべし

市街整理委員會例會

京城市街整理委員會の例會は先月休會となりしも本月は來る十五日午後一時より總督府會議室に於て開會すべしと

府及組合一覽發行

京城府及び學校組合には毎年一回前年度に於ける各種の統計を基本として府勢一覽及び組合狀況の印刷發行を爲し來りたるが本年も亦府一覽は兩三日中に組合狀況は本月末迄に發行を見るに至るべしと

租稅及び驛屯土收入

大正五年八月末現在に於ける京畿道租稅及び驛屯土收入成績を聞くに左の如し

▲地稅 調定額七十六圓に對して七十圓の收入あり即ち九分二厘一毛の收入歩合也

▲市街地稅 調定額十一萬零二百八十五圓に對して十萬零一千七百廿五圓の收入あり此收入歩合は九分二厘二毛なり

▲戶稅 六萬五千八百九十圓の調定額に對して三萬六千九百九十圓の收入あり即ち收入歩合五分六厘一毛

▲家屋稅 調定額四萬二千百十七圓に對して三萬八千七百四十七圓の收入あり此の收入歩合は九分二厘なり

▲酒稅 調定額二萬六千七百五十圓に對して二萬六千四百五十二圓の收入即ち收入歩合九分八厘八毛

▲煙草稅 調定額十七萬二千七百十四圓に對して十六萬四千二百七十圓の收入あり即ち收入歩合九分五厘九毛あり

▲鑛稅 八千四百十五圓の調定額に對して七千零三十六圓の收入あり收入歩合八分

▲雜稅 調定額三千零五十九圓に對して二千七百九十三圓の收入あり即ち收入歩合九分二厘五毛

▲驛屯土收入 調定額千六百十九圓に對して五百廿六圓の收入あり即ち收入歩合三分二厘四毛にして以上總計調定額四十三萬零九百十六圓に對して卅八萬零百四十五圓の收入あり即ち收入歩合は八分八厘二毛なり

京釜線尚ほ不通

他線は何れも復舊

豪雨出水の爲め鮮內鐵道各線路は京義線を除き何れも不通となりし事は既報の如くなるが京釜線始興安養軍浦間の被害最も甚だしく十日夜までは開通を見ざりしが復舊迄には尙ほ四五日を要す可く天候恢復の模樣あるにより當分徒步にて連絡を取るべしと尙ほ京仁線は十一日午前八時半南大門發汽車より運轉す可く京元線は十日午後五時半より湖南線は同日より何れも復舊せり

郵便物延著

內地及び京釜

湖南線方面よりする郵便物は汽車不通の爲延著となり居れるが始興安養間の徒步聯絡開始次第到著する事となる可し而して徒步聯絡の開始に就ては尙鐵道局に於て調査中に在りと

人事消息

▲ゲストエント氏（佛人礦山業）▲トエー氏（米商人）十日夜入京朝鮮ホテルへ

南言北語

滿洲の支那將軍連が內職に商賣をして居る事は人の知つて居る處だが其の最も手廣くやつて居るのは奉天の張督軍である事も有名な話である▲處が例の鄭家屯事件の責任者馮麟閣は三週間前より遼陽城西の劉二堡で質屋を開店して同地の日本質屋と大に競爭を始めた相な▲名義は流石子分某の名にしてあるが資本金は三十萬で店の入口には二名の兵隊さんが張番をして居るなんて大に振るつて居る▲天下の政治家が非に趣味を持つて居る共通點があつて碁が人格を現はすとすれば比較して見ると面白い▲故伊藤公の碁は流石に碁風堂々たる處があつて總世的打方をした相な▲大隈侯と青山博士との手合せを見ると隈侯は小心翼々頗るセコ〳〵して居るが青山博士は高目の而も落付た堂々たる打方で碁から見ると博士は侯より數等上の君子人として見られて居る▲溫容の英傑の樣に思はるゝと云ふ寺內相は拙劣で誤魔化し許りやつて頗る汚ない▲武富藏相は流石に紅木屋侯を以て知られて居る如く堂々天下の陣を敷く▲原敬君と來ては批評は將に寸鐵急所を刺すの感があり又た犬養君も碁學に通ずること天下に敵なしと云はれて居るが何れも石を持つと口程にはない相な▲之は話が違ふけれど內閣諸公中で一番の神經家は河野農相で虎疫流行以來美髯を一本々々克明に洗ふから三十分以上もかゝる▲其れに黴菌でも著てはと石炭酸で洗ふと云ふ騷ぎ▲衞生家は尾崎法相で無頓著なのは隈侯▲平氣で刺身などを平げて『鹽辛いものを食ふと人間は無病息災ぢや』と口の曲る樣な特別料理をやる相な▲道理で侯の口は何方かへ曲つて居る樣に見へるとはまさか

其後の豪軍宗匪

[illegible]からざる地點に駐在し其警戒に就き[illegible]るも彼等衝突の結果又何時發動に關する諸手配を了せるも雖問題は一層なかる可きも懼む可き運命は彼等[illegible]るに於ては必ず支那軍の攻擊を受け[illegible]那軍優勢なりとも僅に二三千の部隊監視するの必要ある可しと云ふ（天）

黒背金礦三、琿春大肚川金礦四、盤石銅鐵五、延吉鷄鳴砿子金鑛六、依[illegible]琿春盤嶺金鑛八、

株式會社漢城銀行開城支店登記
株式會社漢城銀行ハ大正五年九月一日左ノ處ニ支店ヲ設置シタリ
京城府鍾路三丁目四十二番地
右大正五年九月六日登記
京城地方法院開城支廳

富の道しるべ　山縣五十雄　村上唯吉共著　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

京日案內

普通　三十錢一回前金　番外　六十錢一回前金（限名一回毎に五錢增無制限）
▼申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通
◎貸貸　朝鮮式家屋瓦葺九間所在昌德宮附近三十坪乃至八十坪價賃格安外貸宅地數ケ所　桂洞一四　林業社　204

▼高等法院民刑事判決錄出物あり　京城本町電二五二七　ウツボヤ書店　165

◎自働車運轉手見習壯健者一名入用年廿四以下保證人を要す希望本人至急來談　水標橋通　京春自働車商會　207

外務員入用　自午後四時至六時要來談　若草町二八八　文福堂　205

◎外務員募集　◎確實なる要保證人　大日本信託合資會社出張假事務所　南山町一丁目一番地大和屋委細面談　194

內◎有給（男女）外務員招聘　永樂町二の七五　京城十友合資會社　福德生命保險株式會社　181

◎松汀里光州間自働車は太田木浦間凡ての列車に聯絡す　▲光州　加藤自働車運輸部

古本　高價買入　京城本町三丁目　東京堂書店　163

女子外勤員二名入用　手當及步合支給　◎松井松榮堂　京城本町一の四九　電一三七八　197

番外　店員入用　年齡十六七歲市內に確實なる保證人を要す　京城本町一丁目（電三一番）　陶榮商店　196

店員入用　年齡二十五歲以上經驗ある者雇入れたし但し確實なる保證人二名を要す　199

▲代診至急採用　希望者は履歷書携帶本人來談あれ　京城南米倉町　電話二九三四番　上野醫院（姓名在社）　201

◎京城春川間自働車　貸金片道四圓　毎日午前八時出發　京城南大門通一丁目　電話二一九番　廣橋自働車　主務金正淵　195組

京城春川間合乘自働車　京城發前九時　春川發前七時　貸金片道四圓　◎京城水標橋通り　電話武堂參八番　支配人松田壽男　京春自働車商會　202半

恩給年金立替　利月一步　並諸公債株券取引　櫻井町大正館向　博多屋本店　142

質　大勉強　確實誠意　永樂町一丁目商品陳列館前チヨッコン下る　ハダ秦　170

恩給年金即時立替　料金低廉　短期無保險利息步武厘五毛　橋町二三番地　京城　國江商會　200

◎社員募集　外務員三名集金係一名　確實なる保證人を要す　優良者を厚遇す　月給其他面談　帝國公債信託株式會社朝鮮支部　電話二五三四　振替口座京城一九一七　長谷川町　198

▲高給外務員採用　京城明治町二ノ四六　東京國債朝鮮支部　205

物品購買公告
一　大麥　四千貫
一　大豆　武千貫
此入札保證金各自入札金高ノ百分ノ五以上
入札者ハ府內ニ於テ國稅、地方費府稅、學校組合費年額武拾圓以上納ムルモノニシテ一年以上斯業ニ從事スルモノニ限ル
大正五年六月六日京城府條例第二號ニ依リ各係ニ就キ仕樣書、見本等ヲ覽ノ上本月十五日午前十一時限リ入札スヘシ即時開札ス
右公告ス
大正五年九月九日
京城府尹金谷充
京城府

胃病良藥　太田胃散
◎飲過ぎ食過ぎに妙なり
定價十錢廿錢卅錢五十錢一圓　本舖　東京吳服町　太田信義藥房
▲全國到る處の藥店に販賣す

▲產婦人科
本院　京城旭町一丁目　電話二三四〇番（診察午後）
分院　龍山漢江通（柳町）電話一〇六番（診察午前）
院主　中央婦人病院　衣笠茂

星印ソース
いづれの御家庭にてもソースは星印を御使用です
全國到る處の洋酒罐詰食料雜貨店にあり
星印は品質及賣行に於てソース界の明星なり
發賣元　大阪市　祭原伊太郎

わかさ
今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方はフアーザーを御用ひあれ
藥價卅錢六十錢一圓
京城黃金町三　電話二九四九　山田文藥房

（前號より續く）…の我當局の行動に就きては其後諜報に接せざるが確聞に據れば蒙軍は同伴せる七百二十の宗社匪團と與に今猶楊家城子を距る遠からず而して…一方では楊家城子以西の劃線に於て支蒙軍間に如何なる衝突起るもそは我關知する處に非ず…楊家城子を離るゝ事能はざるべし而して張督軍は此際成る可くは蒙軍を解散歸郷せしむるの方針にて已にそれ明確なれども…を伐つの意あり故に蒙軍にして彼等と手を切らば蒙軍の北歸には何の故…なにて共進退に迷ひつゝある譯にて若し蒙軍が匪團と絶遊關係を繼續す…地方は實に泥濘たる大廣野にて行軍自在なれば兩軍交戰の場合假令へ支…を鮮明したる我軍隊は支蒙兩軍態度の決着する迄は猶現地に在りて之を…

[illegible]…諒解する迄は猶匪地の…必ず…作物は一般に良好にして…水稻…にして前年に劣る…大豆は山間部及び…は八分作其他の雜穀は九分作蔬菜水稻…▲撫順　大豆は開花期に旱魃甚だしかりしため被害を受け平作より幾分…掘末開掘の分は左の如し▲開掘せる者　一、夾波溝金廠二、…金鑛四、烏拉東關山子金及び炭鑛五、省南大墨門金及び鐵鑛…青安香…

●植物學上の新發見

新種廿餘、新屬二＝中井博士金剛山踏査
決死の覺悟で深山を卅餘日跋渉

這回自分は金剛山の跋渉に三十日を費した、其の間あまり山路が峻嶮なので『此の分では

■何時死ぬるか　も解らぬ』と留守宅へ通知しておいた始末いやはや金剛山の登攀には懲り〳〵しました、今日も上林山林課長に會ひましたから『昨年の樣な栗の再調査なら三調査でも四調査でもやりますが金剛山の再調査だけは眞平です』とおはなし致した次第、例の集仙峰から毘盧峰の日出月出峰を攀ぢ登つた際の如きは

■非常な危險に　遭遇しました、それに今年の八月中は近年稀な豪雨が襲うたので今年の探勝客は何れも金剛山に懲り〳〵して逃げ出したやうに聞きました、金剛山の峻嶮なことは彼の九龍淵附近でも相當な困難と稱せられて居りますが私が八潭に登つた時『八潭に居る者は馬鹿なり』と記した文句を見て成程

■穿つた言葉で　あるとつく〴〵感心した次第です、しかしあの毘盧峰の絶頂に立ちて晴れ渡りたる日本海の水平線を望むだ時は今後幾度でも繰返し居りたいと思ひました兎に角高い山は何處に於ても見られますが金剛山ほど眞直に聳立した山は尠ないと思ひます、兎に角日本の領土內には金剛山に

■匹敵する山は　何處にも見出すとが能きませぬ

▲金剛山は植物學の寶庫
新屬は東京へ歸つた上で發表

次に私の專門なる植物研究の方から觀察しても金剛山は實に植物界の寶庫であると信じます、這回私が

▲絶頂で見た　高山植物には先はいまつ、くろまめの木、こけもも、くろみうぐひすかぐらなどの灌木類からつまとり草、くもまりんどう、はくさんいちげ、まんしうしほがま、たいげきさいこなどの草花類まで種々面白いものが澤山ありました、殊に私が愉快に堪へぬのは這回植物の新種を二十種あまり發見したことゝ猶ほまた

▲灌木の一種　で全く世界に無い新屬のものを二つだけ發見したことであります、其の中一つの方は全く新屬か何うか茲に斷言致し兼ねますが一方は先づ十中の八九分通りは學界に誇るべき新屬であると確信致して居ります、私は此の一方の灌木には既に新らしい學名さへも用意して居りますが何れ近日東京に歸つた上で

▲發表しよう　と思ひます、若し這回のが新屬とすればこれにて金剛山からは世界に誇るべき新屬二種を出した譯で先年私が發表しておいた花房草と共に確かに面白き發見であると思ひます御承知の通り花房草は桔梗科に屬する草ではありますがこれを外見一ばん親類らしく思はれるそばなの花と

▲比較して見　ますると花の內部の構造から全然かけはなれた別種のものであるといふことが出來ます、詳しき專門的のことは避けるとするも先づ雄蕊が一つに固まつたところから蕊が長い足を有つてなどこれを學問的に看ると全く別種のものであるといふことが解ります、恁麼ことは實に

▲種類の變化　位ゐであるものではありませんから私の發表した當時も全く全界に珍らしい新屬のものだといふことが承認されたのであります

▲從來發見したのは二百餘種

序に花房草の極めて近い親類を調べますとそれは飛んでもない西歐のバルカン半島附近から小亞細亞地方にあるシンフィアンドラと申す草でこれは外見

▲花房草　とは似ても似付かぬ草花ですが學問的に見るとこれが一番近いのであります、私がこれまで發見した朝鮮の植物は種類から云へば其の數既に二百以上に上りますが斯の如き新屬といふものは滅多に發見されるものではありませぬ

▲元來屬　の多く發見されたのは初め植物の分類學が興つた時代に澤山數限り無くある植物の中からそれ〳〵系統を立てゝ類似のものを集めた時代のことで今日のやうに分類の進んだ時代に發見された新屬が非常に珍らしがられるのであります、次ぎに金剛山には

▲世界一　と稱すべき大きなりんだうがあります、これは高さ三四尺もあつて全く世界の何處にも見出されざるものと云はれます、またおにたいにんがさと稱する葉の直徑三尺に餘り高さ

▲七八尺　の珍らしい植物もあり外國に珍らしいまつばゆりも美くしい紫の花に咲き亂れて居りました兎に角金剛山といふ所は獨り山水の美を稱するのみならずわれ〳〵植物研究者にとつても洵に趣味多き所であります(理學博士中井猛之進氏談)

□初秋郊外十景(八)　錦り墜ちなる空を斜にしながらもうれ〳〵と續く堤を行けば、そこにはさゝやかな流れにそうてこぼるゝばかりに秋の花が咲て居る、大分陽も西に傾いてかすかに夕を報する鐘の響さい、ものあはれにきこゆる何んさ言てもう秋だうすさむい風が吹いて來た、そことなく黍の葉づれが淋しい——とみ——

◆劇藥自殺　は朝鮮人に多い
一箇年間に
京畿道管內に於ける變死者は二百五十九名

一箇年間に於て京畿道管內では如何の變死者があるかといふ事を調べて見ると大正四年中病死にあらざる天災地變や自殺又は他殺に依つて

◆尊き生命を　失つたものは內鮮支其他外人共總計で二百五十九名となつてゐる自殺したものとしては縊死と劇藥を服用したものが最も多く縊死者は內地人男子二名と女子四名、朝鮮人は男五十と女二十四、別に支那人男子一名とである、毒物や劇藥を吞んで死んだものは內地人男女各五名、朝鮮人男二十一女二十と支那人男二とになつてゐる、其他入水して死んだものが內地人男二、朝鮮人男十三、女三十、刀物を用ゐて死んだものが內地人男一鮮人男二其れから汽車で轢死を遂げたものは內地人のみで男八、女三あり、皆緑汁を飲用して自殺するものは主として鮮婦人であつて三名だけある

◆其他人違ひ　或は怨恨や盜などの爲めに殺害されたものが內地人を通じて十九名あつた、次に天災と見るべき火災の爲めに燒死したるものは朝鮮人のみで男三、女九、洪水の爲め死んだものは朝鮮人のみで男十八、女十四名である、又難船の爲め溺死を遂げたものが鮮人男三名其他途中で凍死したものが六十九名あるが是は朝鮮人のみである、其に誤つて絶命したもの二十六人、過つて汽車に轢き殺されたるものは鮮人のみで十四名であつた更に多いのは朝鮮人の過失に基づく溺死で是が多くは漢江に溺れたもので僅には小兒のみ

◆井戸や溝に　墜ち込んで死んだものもあるが其の男子が百六十名、女子が六十名あつた、其他家屋の倒潰や岩石土砂の崩壞などに依つて壓死したるものが朝鮮人二十一名あり又結氷期中に凍死したものが鮮人男子十三、同女子四人ある、高所から墜落して死亡したものは鮮人九名、窒息して絶命したものが鮮人のみ五名であつた

●困り拔いた獨逸人
蘭領諸島で驚く可き排獨感情

數箇月前まで蘭領スバラヤ市にありて盛大に商館を經營し居りたる米國歸化獨人某は今回米國渡航の途次二日入港の鎮海北野丸にて香港より搭乘神戸に立寄りたるが往訪の記者に對し蘭領諸島に於ける獨人の窮狀に就て左の如く語れり(大阪支局)

目下蘭領東印度諸島に於ける一般蘭人の居留獨逸人に對する敵愾心は實に

■猛烈を極め　たるものにて米國又は他の中立國諸國に比すべくもあらず就中瓜哇に在る獨商の近況は實に慘憺たるものにて口否の盡す處に非ず最も多年同地方に於て事業を經營せる獨商は利害關係上大抵和蘭に歸化し居れることゝて戰前にありては毫も感情の疎隔せるものなかりしが戰亂勃發と共に俄然態度を變じ昨日の友は今日の敵となり其他官憲の犯人に對する措置も頗る苛酷となりたり思ふに這は講和の曉英國の爲めに蘭領殖民地を奪はるゝを恐るゝ爲めなるべく現に和蘭官憲は

■英國の命令　とし云へば諸事唯々諾々として之に背かざらんことを努めつゝあれば也同地方に發行せる蘭字新聞紙の如きは盛んに惡辣なる筆を揮ひて居留獨人及び其等本國に對し嘲罵を浴せ掛けつゝあり斯く蘭人を煽動せる結果最近に至り獨品に對する排貨さへ强制するに至りさなきだに窮迫に陷りたる獨商として手も足も出でざるに至らしめたり獨逸人はカフエー料理店又は俱樂部に一切出入を禁せられたるのみならず從前親しく相互に往來せし

■蘭人の家庭　よりも謝なく排斥さるゝに至り又公衆の歡樂場たる劇場又は公會堂の催しに際して麗々しく門前に獨逸人出入御斷りと張札を掲示するなど獨逸人をして全然享樂の餘地なからしむるに至れり今其極端なる一例を擧んに予の入り來るを見るや拂然色をなして直に退出せんことを求めたり依つて予は其理由を訊きしに主人は『貴下が當家に在ることが官憲の知所とならば予は直に營業禁止の嚴命に逢著するやも圖られざるを以てなり』と答へたり多年の親友にして尙然り以て其

■一斑を察す　べきにあらざるや從前英商に雇用せられし獨逸人は固より蘭人商店に從業せしものと雖も英國の意向を憚りて悉く解雇せられたる爲め獨逸人の多くは今や放浪生活の狀態となり本國に歸らんにも一錢の貯へもなく遂には饑餓に迫るものさへ生ずるに至りしかば比較的富裕なる獨逸人は協力し約十二萬弗を醵金して渠等を救助しつゝあり思ふに蘭領諸島に居住する獨人は到底戰前の狀況を恢復する能はざるを以て悉く本國へ歸還するの外なからん

◉我警官を狙擊す
鮮人を射殺した支那の保衛團

釜山生れの長散日(三一)同李根世(三七)の三人は長孫斗王(三九)同李根世(三七)の三人は長春方面に働きゐたる處都合あつて此程歸鮮すべく同地を發し馬仲河驛の南十五支里成子溝附近迄來りたる際後方より同地の保衛團員數名來り呼び止めさき孫を射殺し尙暴行く李、張の兩名を縛し有無を言はさず一二丁引立て行き復たも李を射殺せんとするより李は

▲縛されし儘　素早く高粱畑に飛入り姿を隱したるに暴兵等は畑中を狙ひ數發の銃火を送りしが李の生死不明なり而して取り殘されし張をも射殺せんとせし折柄附近村民來合せて後難の恐るべきを告げしかば其儘馬仲河の巡警局に引致せしが途中暴兵等は散々に張を毆打し尙所持金全部を奪ひ取りたり斯くて同巡警局に一夜留置せし上更に其の所持せし漢錢一枚を沒收して放逐せり、張は辛ふじて開原城內の我警官派出所に訴へ出でたれば巡査は直ちに

▲現場に出張　し孫の屍體を搜査中復も巡査の狙擊を試みたり幸ひに同巡査に負傷なく孫の屍體も附近小川に埋めありしを發見せり尚同巡査は屍體搜査の際支那官憲を立會せしめむと該巡警局に至りしに巡警等は何れかに走り影を認めず漸く後にて巡警に會し日本警察官を狙擊せし不都合を責めしに彼は平然として馬賊と間違へたりと云々と答へたりと(奉天)

◉無門會第二會
僧生十數名參聽

無門會第二會は既報の如く九日午後四時より京城商業會議所樓上に於て開催せられたり、しきり降る秋雨を冒して參會するもの八十餘名に達し立花師團長、野田東拓副總裁、松寺檢事正、芳賀醫院長、野田東拓理事、井上、林、村田、東拓理事、森安、久保田兩博士、古城前民團長、遠山漢湖支配人、中野、亥角兩鮮務官、大垣京城通信社長、阿部本社長其他民間知名の士を網羅し特に朝鮮三十本山委員長姜大蓮和尙は中央學林の僧生十餘名を率ひて參聽せり後藤瑞巖老師は冒頭に請本禪河一濟の山來を說明し本則の『大要之道在明明德』に就て演じ去り演じ來り楠正成公の誠忠を引例せるあたり聽衆をして覺わず襟を正さしむるものありき、かくて靜肅の裡に午後五時三十分頃閉會せり

◉江原翁歡迎會
鐘路中央青年會

鐘路中央青年會總務尹致昊氏は九日正午より目下滯京中の江原翁一行の爲め朝鮮ホテルに於て歡迎會を催し宇佐美內務部長官、渡邊高等法院長、京城青年會及び中央青年會各理事、外國人宣教師、內鮮人牧師、丹羽囑託、山縣セウルプレス社長、阿部本社長等四十餘名を招待し內鮮兩青年會の教育其他事業上有益なる意見を交換し午餐の饗應あり閉會せり

◉漢江漸次增水

漢江は龍山元町四丁目に於て十日午前十時二十三尺の增水なりしが同日午後四時には二十六尺に達し尙刻々增水の模樣なりき

◉春川交通杜絕

八日來降雨續きにて漢江增水十九尺春川十二尺に達し交通杜絕せり(春川特電)

◉洋服代の橫領

京城黃金町四丁目居住栃木縣宇都宮市下河原町生れの三木麟(三九)は永樂町二丁目遠藤洋服店に雇はれ中本年五月より七月末迄に本町四丁目石川某外七箇所より集金したる洋服代金の內五十六圓を橫領消費し本町警察署に檢擧せられ京城地方法院の公判に附せらる

◉便所から十四圓

京城黃金町六丁目衛生人夫林聖弼(三六)は八月三十日午前十時頃北米倉町宮保とよ方に汲み取りに行きたる際同人より便所の中に現金十四圓在中の黑皮製蟇口一個墜落し居るを見當らば拾ひ置き吳れと賴まれたるにも拘らず之れを拾ひて橫領したる事發覺し遂に本町署に檢擧されたり

◉僞證

仁川市外江華居住鮮人梁奎煥は山平町二丁目居住加藤藤太郎が李健輝なる鮮人と覆審法院にて山阪所有擾侵害排除請求控訴事件に關し實地檢證の際證人となり法廷に立ちて加藤に不利の證言をなしたる事判明し此程加藤より告訴されたるが近く公判開廷さるゝ筈(仁川)

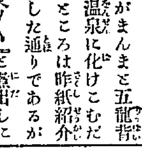
◉長靴泥棒

仁川府山手町…商業…太郎方に雇傭中の…(二三)といふは同店の商人某の鋼上長靴時價十四圓餘の物を窃取し古物商に入質して費消したる事判明し八日懲役五箇月に處せられたり(仁川)

演藝

林之助の堀川

浪花節に乘込みたる林之助一座は既報の通り九日花々しく初日を開演したるが折惡しき雨天にも拘らず頗る好景氣を呈せり三日目は堀川を出したるが之れは林之助の得意の出し物なりと三日目(十一日)番組は次の如し▲妹脊山竹本廣久▲金比羅利生記竹本林廣▲…四段目竹本住子▲日蓮記勸作住家竹本林玉▲忠臣藏四段目豐竹波升▲阿波鳴門八ツ目竹本久子▲安達ヶ原三段目竹本廣市▲近頃河原達引お俊傳兵衛猿廻しの段竹本林之助糸豐竹東馬鶴



朝鮮公論の牧山君がまんまと五龍背溫泉に化けこむだところは昨紙紹介した通りであるが

▲さて『俺れの親父〳〵』と煮出しに使はれた野田大塊翁はそのまゝでは納まらず▲此奴、俺の次男だなどと稱する惡戲者に一矢酬ひてやれと許り九日の朝女將のお玉君に向つて電報を打つた▲曰く『僕の次男と稱する迂散者驅き出せ、併し朝鮮公論の牧山さんは歡迎せよ』と▲これに對しお玉女將の返電が振つたもの曰く『味噌汁三杯召しあがつたところまで貴下樣そつくり、全く喰はされましたよ』

◉解警戒(九月十日午後三時發)　京畿道黃海道の沿岸及び內陸警戒を解く

良妻賢母

●女子の本分

▲料理と作法を心得ねば女一生の損

▲嫁入に五荷の仕度にも勝る貴くして

「重寶なるは板垣伯夫人會長大隈侯楠木男顧問の東京割烹講習會發行家庭料理及び禮法の講義錄なり

▲料理の秘傳と作法の奧義

秘傳と奧義は夫れ〳〵料理の家元や禮法家の家傳にして從來なかなか之を傳授せざりしが如何なる秘傳奧義もどしどし公開されたれば志ある人は此機會を逸せず…

▲西洋料理　一品料理▲各國の料理▲日本人向料理▲家庭用輕便食パン製法▲コーヒ及び紅茶の入れ方▲西洋人日常の食事其他澤山あり。

▲支那料理　支那料理は世界中最も進歩せる滋養に富めるものなれば…

▲和洋菓子製法　家庭の…高尙なる和洋菓子の製法を說明す。

▲漬物の漬方　漬物は日々の食事の必要品にして一見平易なるが如くして其の鹽加減に至りては…

▲禮儀作法と家政　本紙愛讀者に勸む　禮儀作法心得の有無は人の品位に關するものなり然るに人々日常行ひ居る事の中に判らずに行つて居る事…

▲年中行事と料理　▲菊見▲七五三▲歲暮▲大祓▲お正月▲門松正月飾り▲年越等の年中行事より▲婚禮式▲出產▲誕生▲還曆▲古稀▲喜の字等の人一代の行事を故事傳說を參照して其由來及び心得を說明して各場合の料理を附記す

▲日本料理　▲一般家庭向惣菜料理を主とし▲即席料理▲安價料理▲晩酌料理▲野菜料理▲老人、小兒、病人の食物▲松茸栗飯の炊き方より▲會席料理▲本膳料理▲各種儀式料理等を說明す

▲今回新學期を開始　全國に向つて男女會員募集中なるが會費は一ヶ月僅かに金卅五錢三ヶ月一圓六ヶ月一圓九十五錢一ヶ年三圓六十錢にて半年卒業なり…

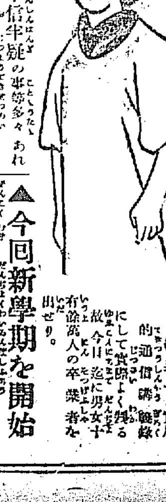
▲入會手續きは　極めて…

▲五大特典　…

益此上もなし…

▲內容見本と規則書を一見したき人には…

東京本郷元町一ノ三　東京割烹講習會へ申込まるべし　振替口座東京一九四一〇電話下谷三六九二なり



女鳩

渡邊默禪

(一〇二) 來た！出た！

古來から傳襲された熊捕の法は地方によつて違つてゐる。愛媛縣から徳島縣にかけての山中では、長さ二間に餘る竹筏のやうなのを編み、これを桔槹のやうな風に枠木に吊して上に數十貫ばかりの大石を積み、下に鹿の燔肉を置くか柏の實などを蒔いて餌にする。熊がその餌を食はうとして體を突入れた刹那、急轉直下窖のやうな音を立てゝ上から石が落る、下に壓かれた熊は土中に一尺も四肢を突込んで死するのを例とする。この機械を稱して天井釣、又は壓搾といふ。飛彈、加賀、越前地方の獵夫になると最つと武勇的で且つ冒險的だ。先づ熊の巣——大概森林中の樹の洞孔か、谷の岩窟を家としてゐる——へ窃と覗び寄つて、穴の左右に大きな斧を持つた二人が立ち、一人は枝つきの儘なる手頃の生樹を押取つて突いて荒る。熊はその樹を穴の中へ引入れようとして前足を手の如くに働かしつゝ、爭ひながら出て來る。其處を穴の口に待ちかまへてゐた二人が斧を揮つて斬つける。油斷をすれば咬着かれて、體を引裂かれることもある。次に美濃、因幡、石見の地方になると、熊の睡眠中を覗ひ、穴の口に丸太を叉んで閉塞し、木の枝を切つて穴の中へ投込むと、熊はその枝を引入れ〳〵、我から穴を塡めて餘儀なく接近するやうになる。かくして程好き位置に釣出してから、竹槍、銃、又は大身の鎗などで狙撃するのである。山形地方では重にこの方法を用ゐるが、外に餌を蒔いて置いて誘き寄せ、とや（待伏してゐる小屋）打、待打に銃殺するといふ式もある。

氷河のやうな谷間を爪先上りに前進した一行が、やつとのことで岩壁の下まで辿り著いた時には、都合よく雪が歇んで、空低く垂れこめてゐた厚綿のやうな雲が綻びかゝつて來た。太陽の光線は遮られたれど、天地は急に明るくなつて、今まで鼠色の帷に包まれてゐた峰々も幾日ぶりかで眞白な鋭角を見せた。蜿蜒として一里に亙る大絶壁は、さながら六曲の銀屏風を立てたやうに、白燦々たる光を投げて一行を迎へた。高きは七十ロッド、低いところでも五十丈はある。石英長石雲母の三鑛物から成立つたその斷層面は一つらに雪に掩はれて、たゞ所々に生ひ出した針葉樹や木通科の植物が斑らな黒點をちらしてゐるだけ。何處に岩窟があるのか洞穴があるのか子爵の目には只多くの神秘と怪奇とを藏してゐる古い〳〵城砦のやうに見えた。

先に立つた源作は、巧みに獵犬の太郎とルイスとを操縦して、熊の所在を捜るべく岩壁にそつと進んだ。二頭の犬は輕捷に身を跳らしつゝ、そこ此處となく飛廻つた。時は午前十一時、子爵の背後でだしぬけに叫んだ者がある。『あッ、來た〳〵!!あれ、あそこを見ろ〳〵。來たぞ〳〵』子爵を始め一行はその聲に擧れて皆振回つた。指さす方を見るとそこから約一哩ばかりもある峰の肩に眞黒な蟻のやうな小さな影が現れた。一、二、三、四——確かに十餘人は居る。それが隊を成して地獄谷の方向へ落ちて來る。子爵は急いで雙眼鏡をとつた。『おゝ、人間ぢや。糧食隊らしいぞ』

『ソレ、誰か合圖の銃を撃てッ！』言下に大野は銃をとり直して一發の空砲を放つた。わアーといふ歡呼の聲は一度に各自の口から迸つた。それと殆んど同時、行手にあたつて二頭の犬が突然消魂ましく吼え立てると共に、ピ、ピーといふ呼子笛の急調な響は、獸びに際つた一隊の心を劈き破るやうに聞えて來た。『ソレ、出たぞッ！』二十餘人の目は光つた。その笛の音は正しく獲物を發見した源作の警報である。

京城本町一丁目　杉本耳鼻咽喉科醫院　電話一二三〇番　醫學士　杉本砂一

京城旭町一丁目四番地（旭町上る左へ入る）　外科・内科　花柳病・皮膚科・耳鼻咽喉科　島崎病院　電話三七三六番　診察夜九時迄　院長醫學士正六位勳四等島崎龍一　手術室新設、隔離室、普通病室設備　入院隨意

□木の實　浩一朗

木實はらはら憧貞の睚
朝霧の釣瓶木の實落つる
朝霧赴ち終らぬ煉瓦高積る
迷猫が入りびたり居る蓼の花

□秋六句　活堂

燈籠いくつくとり來る我顧る
秋涼しく火色なかに日のあり
上衣ぬぎつゝ進む野菊の盛り
秋暑き日車の花首たるゝ
見あるくに落付かぬ秋風の町

新刊紹介

▲續世界山水圖説（志賀重昂著）著者が卓拔なる學識と精確なる觀察と該博なる知識とを以て風景、史蹟、天險、要害、人物に亙る造蓄者一流の地筆に成り聚むる三十八章中『隱れたる日本布哇史』等は千古の大發見とも云ふ可し其他支那福建石鐵道敗地踏査日記として淅江肝江の風光、日本及墨西哥の關係、

◉滿洲の農作

稀有の豐作なり[illegible]に過ぎ[illegible]の豫想なり　入り登熟良好に進み約一割方增收　八九分増收の見込なり　陸稻、黍高粱、玉蜀黍は平年作にて粟、水稻は平年より推す時は既に一二割方增收あらん果樹は多少劣し粟は平作より一地にありては平年作を豫想し[illegible]は平年作以上にて包米（玉蜀黍）は平年に[illegible]

▲本渓湖　今後收穫時迄甚だしき氣溫低下と早霜の害を受けざれば平年に比し二三分減收の見込なり[illegible]何れも平年作に比し品質良好にて約二割乃至三割の增收稻も同樣の好況[illegible]

▲遼陽其他　遼陽にては小麥、黍、麥共に良好にて前年より遙に增收を得た[illegible]

▲最新日本地圖（富山房編輯局編纂）大正五年改版なるが同社發行の地圖は重版毎に訂正を加へ修補するより本邦地圖としては恐らく無比のものたり印刷鮮明校正嚴密活動家の座右に備へざるべからざる特良圖なり（東京富山房　一圓六十錢）

▲星の歌舞伎（泉鏡花著）蛾眉なる萬川夫人と蒔工前原辰馬との戀を鏡花一流の詩的なる筆に描きたるもの東京を舞臺とし西國を背影とす構想奇拔波瀾重疊近來の快著なり尖ばれる歌舞伎な金字「きやり花」と赤で打ち抜には全面に紫陽花を見せたる所あく迄鏡花式たるを失はず（菊版三一二頁九十五錢東京市神田區錦町三ノ六平和出版社）

▲軍友（九月號）三錢　東京市小石川區早川町一五、一二三部

▲兒童研究（九月號）十六錢　東京市本郷區西片町一〇共發行所

▲家庭之友（九月號）涙に溺む視展寺、惡い癖苦い癖の十訓、模範生活表、名婦の少女時代等及長篇小説未華雨、修紫田舍源氏、新紙治のおさん等あり家庭の友の名に背かず（十三錢東京市本郷區千駄木町四九四方堂）

▲海國少年（秋季增刊號）口繪には近く立太子禮を舉行あらせらるゝ皇太子殿下海軍御正裝本誌二頁大の御眞影を添付せるが颯爽たる御英姿仰ぐも畏し、帝國軍艦寫眞帳は新艦軍艦の話海國少年の歌及六大海國小説等勇壯なる好讀物全誌に溢る（東京市京橋區實業之日本社）

▲實業之世界（九月號）學窓の青年と實社會の活動、戰後然來る興、南米に於ける日本移民現狀、貸上將進結合販賣法、最新式排斯栽培法、米價の將來等見るべし（十三錢東京市麹

▲京城の電燈料が高いと云ふ人には我輩大賛成だ、電氣ばかりでなく電車も隨分高い賃金を我々市民より徴收して居るでは無いか、一體京城の電車は均一制にすべきもので區間制は不均一だ、現在の一區三錢を五錢にしても均一制の方がいくら便利か知れぬ、東大門から龍山までに片途十二錢とは餘り食り過ぎる獨占の利益を壟斷せる京城電氣會社は宜しく値下げすべし然らずんば其理由を公表すべし

雜誌廻讀會 會員募集●新古換雜誌交換　京城本町電一三七八　規定目錄進呈　振替京城三九〇四　松井松榮堂書店

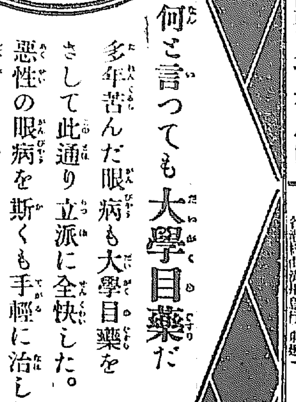
（エレキ生）▲此頃湯錢の高い安いの問題が大に盛んになつて來たがこんな事を兎や角と言ふ連中は死に金を使ふ馬鹿者だ實に彼等の臀の穴の小さいのに驚き且つ之れを憫む高いと思ふたら十回の入浴を八回にしろそれで平均は取れる筈ださりとて家賃の高いのは安い所に行け電氣瓦斯の高いのは止めろと言ふ事は出來ぬ茲に於てか家賃金引下げ電氣瓦斯代値下げ等の問題こそ吾人の論議すべき好材料なると共に又實際に於て當然の急務だ（西海浪士）▲近時本町邊の大商店中には顧客に對して無愛想極まるものがある之は勿論主人の知つた事ではなからうが店員に宜敷注意し給へ（注告生）▲道路を修繕するに途中を掘り上げて置て夜は小さな燈火で危險を示してゐるが其の燈火が不完全な爲め能く消えて居るから深い穴へ落ちる人が多い最少し丁寧にして貰ひたい（片膝負傷者）

●りん病藥壹週分壹圓特製參圓　ばい毒藥壹週分壹圓二十錢特製貳圓　小包料拾貳錢引換廿壹錢。
花柳病専門藥房　京城南大門外停車場通　ドラッグ商會　鮮滿本部　電話二五六七番　振替京城四六七番
●近來東京其他各地に僞ドラッグあり藥品に有田製鑑なき物は凡て僞物に付御買取の際御注意を乞ふ●詳細は本月四日の本紙を御覽

優等清酒

京城永樂町二丁目
發賣元
本莊酒店
電話六五四番　振替京城六二〇番

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
京城本町壹丁目
★株式會社百三十銀行京城支店
電話五八番・一二三番　振替貯金京城一九四番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地に有之候

何と言つても大學目藥だ
多年苦んだ眼病も大學目藥をさして此通り立派に全快した。
惡性の眼病を斯くも手輕に治した大學の効驗は實際驚くの外はない。

各地藥店にあり　大阪　參天堂藥房

宮内省　皇后宮職　各宮家　御用品
殘暑に素顔を荒さぬ……（香ひだけでも心地のよい）……
レート乳白化粧水
附けてサッパリした肌合となる
今の數ある化粧水中で是以上の化粧水は無い……（斷じてない）……
至くレート乳白化粧水程附けて氣持よく皮膚を根本から美くしくするものはありません。試みに寢起きに附けても湯上りに附けてもそれは〳〵目醒めるやうに清々しい氣持となる丈けでも其效果が他の化粧水と違ふ事が分かります。その特種の化學力は幾何強い日光を受けても日焦せぬのみか浮脂を抑へて白粉の附をよく致させます。
東京　平尾贊平

朝鮮郵船出帆

本社　電話長一九五二番二二三番　京城南大門驛前代理店　京城荷客取扱店松原運送店（電話長一七〇番）　鐵道會社及社外船と荷客連絡輸送の便あり詳細は支店出張所代理店荷客取扱店に御照會願候

- ○全羅丸　九月十一日　○京畿丸　九月十三日　○黄海丸　九月十三日　○咸鏡丸　九月廿三日　門司より釜山各港寄港雄基間航路　釜山發
- ○穩城丸　九月　日　○昌平丸　九月　日　○鏡城丸　九月十四日　元山より各港經由雄基行　元山發
- ○忠清丸　九月十五日　○平壤丸　九月　日　元山發
- 城津浦鹽行復航釜山より門司又は長崎行
- ○永興丸　毎月廿八回　北久味、五里浦行　元山發
- ○咸德丸　九月　日　廿浦、九龍里、浦項各港寄港鬱陵島行　釜山發
- ○江陵丸　○襄陽丸　毎日　長生浦方魚津寄港　釜山、浦項發
- ○三浦丸　九月十二日　長承浦、麗水、巨文島、濟州島各寄港　釜山發
- ○海州丸　○統營丸　各港經由麗水行　○巨濟丸　○慶寶丸　毎日　（三日目一回木浦行）　釜山發
- ○順天丸　三日目毎に　各港經由麗水行、麗水より釜山行に接續　木浦發
- ○慶興丸　九月十三日　各港經由濟州島行西廻　木浦發
- ○慶興丸　九月十一日　南鮮島嶼列島行（月三回）　木浦發
- ○公州丸　九月　日　各港經由濟州島行（東廻）　木浦發

日本郵船出帆

- ○宗信丸　九月十二日　海州他各港經由、德洞又は白翎島行　仁川發
- ○江原丸　九月十五日　青島、大連、芝罘行　仁川發
- ○麗水丸　○晉州丸　九月十日　各港經由木浦行　仁川發
- ○全州丸　○南陽丸　毎日午前　江華島、喬桐島、海州行　仁川發
- ○大連、太沽、牛莊行　相模丸　十月九日　正午出帆　高砂丸　九月十七日　正午出帆　三河丸　九月廿八日　正午出帆
- 仁川海岸町一丁目　電話十番　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆

- ○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行　君が代丸　九月廿二日　後四時出帆　○大有丸　九月十九日　後四時出帆　○神代丸　九月十五日　後四時出帆　○秀吉丸　九月十二日　後四時出帆
- 仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告

- ○門司、神戸、大阪行　立神丸　九月　日後五時出帆
- ○元山、清津、浦鹽行　立神丸　九月　日後十時出帆
- ○元山、城津、浦鹽行　小倉丸　九月　日後十時出帆
- ○元山、西湖、新浦、城津、清津行　第三平丸　九月　日後六時出帆
- 本船取扱店　釜山港埋立新町　大池回漕部

大阪商船仁川出帆

外航所属航路連絡船（國外航路）を除く間違無く五分引を以て連絡切符發賣仕候

- ○群山、木浦、釜山、鎭門、神戸、大阪行　須磨丸　九月廿一日　安東丸　九月十八日　大智丸　九月廿四日　後五時出
- ○木浦、釜山、嚴原、郷の浦、長崎行　信濃川丸　九月十四日　信濃川丸　十月二日　後二時出
- ○群山、釜山、横濱行　福州丸　九月十三日　湖州丸　九月廿八日　後二時出
- ○木浦、釜山關門、神戸、大阪行　天智丸　九月十二日　後二時出
- ○鎭南浦、大連行　信濃川丸　九月廿七日　信濃川丸　十月十五日　後二時出
- ○大連直行　福州丸　十月三日　湖州丸　九月廿三日　正午出帆
- ○鎭南浦行　天智丸　九月十四日　正午出帆
- ○清津、浦潮行（元山出帆）　▲印ハ城津西湖津ニ寄港浦潮不寄港　安平丸　九月十六日　宮島丸　九月廿二日　後二時出
- ○上海、基隆、打狗行（大連出帆）　基隆丸　九月廿四日　後四時出　北湖丸　九月十三日　前六時出
- 御注意　●朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候●旅客船室は本船出帆約一時間前迄御申込相成度候●×印は一等御斷り△印は船客御斷り
- 切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二番二〇番五五番　京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七〇八番
- 中國四國沿岸各港行船客に對し一割引を以て連絡切符發賣仕候

阿波共同汽船仁川出帆

- 關東都督府命令航路　○芝罘、大連行　第六共同丸　九月　日後四時入九月　日前九時出
- 朝鮮鐵道主要驛にて荷客連絡取扱仕候　大連にては青島行定期船接續と同時運賃にて通し船取扱可仕候　○城津、清津、浦鹽行（元山出帆）　第一阪鶴丸　月　日後九時出
- ○西湖津沿岸各港を經て雄基行　第三共同丸　元山出帆　月　日前八時出
- 本町二丁目（電話一〇八番）　阿波國共同汽船株式會社　仁川代理店　山下回漕部　春日町（電話二四七番）　元山代理店　田口回漕部　南大門（電話二六八・二〇七）　京城取次店　河村運送店